琉球大学学術リポジトリ

受講ノート：心理

メタデータ	言語:
	出版者:
	公開日: 2018-04-16
	キーワード (Ja): 矢内原忠雄
	キーワード (En): Yanaihara Tadao
	作成者: 矢内原, 忠雄
	メールアドレス:
	所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/38472

矢内原忠雄文庫

史料名	心理［第一章心理学ノ性質］
封筒番号	550
原文所所蔵者	琉球大学附属図書館
撮影年月日	平成 17 年 11 月 24 日
撮影者	富士写真フイルム 株式会社
備考	

矢内原忠雄文庫

封筒番号： 550

史料名	心理［第一章心理学ノ性質］
資料形態	ノート
枚　数	56
頁　数	112
縦（cm）	21
横（cm）	16.5
厚さ(cm)	
書誌的事項	受講ノート 記述は56枚目まで 今泉分類記号：Y

琉球大学附属図書館

NOTE-BOOK

心理

一二一

矢内原

(Matsuso)

(K 32)

KODAK Color Control Patches © The Tiffen Company, 2000
Blue Cyan Green Yellow Magenta Red White 3/Color Black
Kodak LICENSED PRODUCT
Inches Centimetres

1/10

PSYCHOLOGY.

PROF. HAYAMI.

01 James — Text Book of Psychology.
2 〃 — Principles of Psy.
3 Titschener — Outline of Psy.
4 〃 — Elements 〃 〃
5 〃 — Text Book of Psy.
6 Wundt — Grundriss der Psychologie
7 Ebbinghaus — Abriss der Psychologie
08 Elsenhans — Psychologie and Logik
9 Ziehen — Leitfaden der physiologischen Psy.
10 Angell — Psychology.
Hö Höffding. 故ニ古クレド 立キ者ナリ
8

James. American psychologist.
1ハ 2ヲ abridge セルモノ。福来氏心理学精髄ニ訳セラル。James ノ文章面白シ
Titschener 3.4ハ古シ 5ハ最新刊。実験的ノ事多シ
Wundt. 書キ方ハツカシ 元良氏心理学概論
Ebbinghaus 要シ。初学ニモシ 英訳モアリ
Elsenhans. 簡単。Sammlung Göschen 中ニアリ
Ziehen 色者ニハ 其方ガ心理学ヲ教ク
Angell American. 新刊 上野氏ノ譯

心理学 — 十年来研究ヲ進歩シ社会ニ必要ナル人ヲ認メラル
1. 史学 経済学 法律学 其他人ノ働キニ関スルモノノ基礎
即 精神科学 (mental science) ノ基礎
2. 生理学ト同ジク心理学ヲ個人ニ必要ナル普通学ナリ.

心理学ノ性質

第一章

一

心理学ノ性質

心理学ハ簡單ニ定義スレバ (mind activity) 心ノハタラキヲ研究スル學問ナリ或ハ精神現象(物)ヲ研究スルモノト称スベシ其所謂心ト云フ精神現象ハ何ゾヤトハ心理学全部ノ知識ヲ留スルコトニシテ比較ニテ常識ヲ以テ解釈スル所ヲ以テ猶是ナルベカラズ心理学ハ古来アリタレドモ独立ノ科学トシテ認メラルヘニ至リシハ僅ニ四五十年来ノ事ニシテ Aristotle (紀元前四世紀) ノ如キハ既ニ心理学ノ研究ヲナセリ. 然ルニ其後近世ニ至ルマデソノ研究ノ発達セザリシハ心的現象ノ研究困難ナリシニ反スソノ困難ナル点ハ主トシテ心ノ現象ハ変リヤスク思ツ複雑ナルニ在リ科学世紀後半ニ至リテ急ニ発達スルニ至リタルコトハ畢竟近世ニナリテ急ニ自然科学進歩シソノ有シタリシ概念トソノ研究ノ方法トヲ心理学ニ採用スルニ至リシガ為ナリ. ソノ概念トハ心ノ現象モ物質ト同ジク因果ノ関係ニセリテ絶ヘシ一定ノ法則ノ下ニ作動セルモノニシテ決シテ無秩序ナルモノニアラズト考ヘタリ自然科学研究ノ方法ヲ採用スルトハ実験、客観的観察ニ依リテ精密ニ心的現象ヲ研究シ併セテ満量的計算ヲナスヲ云フ. 数学ノ応用シテ精神現象ノ量(quantity)ヲ計ルモノ Herbat 等嚆矢ニシテ Fechner 之ニツグ Fechner ハ感覚ト刺激トノ関係 (Sensation & stimulas) ニツキテ Weber ノ研究ノ結果ヲ基キテ数学的ニ心ト身体トノ関係ヲ説明表シテ所謂 Fechner ノ法則ナルモノヲ作リタリ. 之ニモレバ若シ外界ニアル刺戟ノ強サガ幾何学的級数ヲ以テ増加スルトキハ感覚ノ強サハ算術的級数ヲ以テ増加ス.

科学とは.

自然科学の方法

Law of Causality

Fechnerの法則

geom. 2. 4. 8. 16.
arith. 1. 2. 3. 4

stimulas. — 精神現象ヲ刺戟スル物. 物

sensation — stimulas ニ依テ生ル感覚. 心

Fechner ハ立チ以テ精神ト物質トノ法則上ノ関係ヲ表ハシモノト解釈セリ. 此法則ハ後ニ至リテ彼ノ考ヘシ如クサホド僻説ヲ有スルモノニアラザルヲ明トナリシガ見ル角数学ヲ用ヒテ心的現象ヲ数学的ニ測定スルノ端緒ヲ開キタル方ハ後ニ加ハラザルベカラズ "Psychophsik" (精神物理学) 彼ノ著ハ物質ト精神トノ関係或ハ心身ノ関係ヲ精密ニ研究スルノ試ニ基ケリ Herbat ハ Fechner ノ如キ如何ニシテ精密ニ量的計算ヲナスベキカトノ法ヲ明示セズ又彼ノ考ヘタルノ精神現象ヲ表象 (Vorstellung) ノ作動ヲ以テ説明セントセシニシテ所謂 Intellectualism (主知説) ニシテ感情意志ヲ重ンズル人々ヨリ攻撃ガハヤ的矢ヲ有シ今日ノ考ヘカハ素ヨリ不完全ヲ免レザルトモ Herbat ノ如キ精神現象ヲ測定スルノ為ノ不可能ヲ唱ヘタルヲ説キ心理学ヲ独立ノ学問トスルニ尽力セシ方ハ甚大ナリシ所

Herbatの功

Intellectualism — Vorstellung 表象. 観念

表象(観念)ガ出没シテ精神現象ヲナス. stage ニアラハレル役者. 潜伏シテアラハレザル役者. (表象)ガ絶ヘズ出没シ続ケテ働キテ各種ノ精神現象ヲナストノ論.

(近代ハ Voluntarism)

実験. 客観的観察ヲ心理学ニ応用スルニ至リシ事ハ一面ニハ自然科学殊ニ生理学. 物理学. 生物学. 病理学等ノ進歩ニ待ツ所アリ. 例ヘバ生物学ノ唱ヘシ影響ニ付イテハ進化論ノアラハレシ結果殊ニ人間ノ心的現象ヲ研究スルニ方リ広ク生物ノ精神現象ヲ研究シテ之ヲ人間トヒ較スルニ至リシ. 生物学ノ研究進マザル以前ハ物理学殊ニ mechanics ニテ用ヒシ概念ヲソノマヽ心理学ニ応用シテ引力或ハ墮勢等ニヨリテ心的現象ヲ説明セントセルナリ生物学ノ進歩ト共ニ器官. 順應 (adaptation). 類化 (assimilation) 等生物学上ニ用ヰル概念ニヨリテ心的現象ヲ説明セントノ傾向漸ク起リ.

生物学の影響

adaptation — 外界ノ境遇ニ教ヘタル心ノ働キガ変ル

○ Genetical Study — アル現象ヲ説明スルニ過去ヨリノ経歴ヲ研究スルニ来ルアラズンバ現今ノ状態ヲ説明スル能ハズトノ考. 未開人ヨリ文明人. 小児ヨリ大人

生理学方面ヨリノ影響トシテハ感官ニ関スル研究ノ発達ヨリ此ノ方面ノ研究ハ1830ヨリ盛リナリ殊ニ Weber Helmholtz. Müller 等氏ノ研究大ニ影響ヲ及ホス

生理学の影響

外ニハ Helmholtz ガ名人ノ眼ト耳トノ構造ヲ明ニシテ以来視覚聴覚ノ研究大ニ進歩セリ

物理学ニ関シテハ最モ多ク心理学ニ影響ヲ與ヘシハ電気ノ応用ニシテ心理的ノ実験ヲナスニハ電気ノ強ト欠ガカラズ故ニ電気学ノ進歩ト共ニ殊ニ実験的ノ心理学ハ発達シ来レリ.

物理学の影響

病理学ノ影響ハ主ニ脳髄ノ生理解剖ト共ニ発達シテ脳髄ノ病理学ノ進歩ガ心理学ノ発達ヲ助ケタリ. 例ヘバ 1870 Broca 氏ガ言語ニ関スル中枢ヲ発見シ. Fritsch. Hitzig 二氏ガ運動ニ関スル中枢ヲ発見セル後. 古人ノ考ヘシ如ク脳髄ノ特ニアル一部分ノミガ精神作用ニ関係セルノニアラザルコト明トナリ又脳髄表面即チ皮質ノ部分 (Cortex) ハイヅコモ同様ニ心ノ働キニ関スルニ拘ズシテ分擔ノ作用ヲナセルコト明トナリ同時ニ昔人ガ想ヒタル簡単ナル心ノ作用ニ対シテ複雑ニシテ種々ノ心ノ働キガ其ノ関係セルコトモ亦明トナレリ.

脳髄ノ皮質。— 病気ノ研究ヨリ発見ス

localization (of function) 分擔作用

脳髄ノ中ニ生年ノ根本ト関係セル唯一ノ中枢アルナリトノ研究考. 各種中枢ノ発見ニヨリテ破ル

精神病学の発生

天文学の発生

精神病学(Psychiatry)ノ発達スルニツレテ心理学モ次第ニ発達セリ 最後ニ天文学ガ偶然ノ事ニシテ心理学ノ発達ノ助ケシコトアリ 1796 Greenich ノ天文官ニテ Maskelyne (後ノ) ノ助手 観測ヲスルニ方リ常ニ観測ノ時間ヲシバシバ遅ルルヲ見タガ少シ全ク不熟練ノ結果ナリトシテソノ職ヲ免カリ後約二十年ヲ経テ他ノ天文学者 Bessel 等ノ研究ノ結果多カ人々ニモ星ノ観測ノ記録ニ違ヒアリ而シテソノ差違ガ性格的且ツ一般的ナルコトヲ知リタル Mas. 氏ノ助手ノ場合ハソノ差違大ニ過ギタルガ故ニ結果ヲ見ルニ至リト称シ後世ノ研究ノ結果 Personal equation ナル語天文学ニ於テ用ヰラルルニ至ル。Personal equation ハ人々ノ観測ヲ記録シテヲラスス時間ニ差違アル故観測ノ際ノ時間ヲ省ク中ニソノ Personal equation ヲ勘案スルノコトナリナホ進ミテ心理学ニ所謂 Reaction time ノ研究ニモコノ人々ニヨリテ違ヒアリ又注意ノ状態刺戦ノ性質ニヨリテ異ナルヲ明ニスルニ至リ。

Personal equation

Reaction time

刺 ——(生理的)—— 脳 ——Reaction Time(心理)—— ○ 運動

刺戦ヲ脳ニテ判断シテソノ運動ヲナスニ至ルマデニハ僅カナル時間 ($\frac{2}{10}$ $\frac{3}{10}$ $\frac{4}{10}$ 秒) アル時間ヲ要スルヲ Reaction Time トイフ。而シテ此ノ時間人々ニヨリテ異ナル。望遠鏡ニテ星ヲ見ルトキ之ヲ紙ニ記載スルトノ間ニ僅カノ時間ヲ要ス而シテソノ Reaction Time ハ人々ニヨリテ異ナル故之ヲ

personal equation トシテ引キ去リ Sun ノ実際ノ時間ヲ知ル。而シテソノ Reaction time ノ間ハ心理学上ハタラキナリ。

心理学の大成

カクテ次第ニ実験的ニ研究スルニ至リ遂ニ19世紀後半ニ有名ナル Wundt出デ従来ノ研究ヲ綜合シテ一ノ心理学ナル独立ノ学問ヲ大成スル事ヲセリ ありかニテハ James (William—) 輩出ス。最近ニ改今ノ心理学ガ如何ナル研究ヲナセルカトイフニ次記ノ如キ種々ノ部門ニ分レテ細密ナル研究ヲナセリ

心理学の部門

1. Physiological P. 心身ノ関係
2. Experimental P.
3. Abnormal P. 病的, 変態
4. Child P.
5. Animal P. (Comparative)
6. Völkerpsychologie 民族—
7. Social P.
8. Criminal P. 犯罪

general P. 一般心理学

1. 心身ノ関係, 神経系ノ研究.
2. 広義 — Old P. ニ対スル New P. { Old P. — Introspection (内省) / New P. — Experiment (実験)
   狭義 — 特ニ実験上ニ機械器械数字等ヲ用フ
   主ニ感覚方面ノ研究. "Psychophysik"

3. 狂者、病者 等

4. 小児。

5. Comparative — 人間ノ動物トノ比較研究。

近来発達シ来リタリ。 特ニ精神状態ノ調査ノ研究ハ重ク

6 Völkerpsychologie — Wundt ノ好ンデ用ヒシ語。一民族ノ行ヒ来ル文化（芸術、宗教、言語、道徳等）ノ発達ノ心理的研究ヲ行フ（Wundt ノ説）。コノ説ノ定義ニハ各種ノ説アリ。ココニハ民族ノ研究トセルモノ

7. 社会学ノ人名ハ Social P. ノ社会ノ一部分トシテノ研究。社会構成ノ現在及過去ノ心理的研究ヲ此ノ中ニ

8. 犯罪者ノ心理状態。 社会学ニ関聯ス。

法廷ニ於ケル犯罪者ノ陳述ハ如何ホドマデ real トスベキカトノ研究。犯罪者ノ取リ調ベ方ニ心理的研究ノ実験ヲトリ応用スル研究等ノ形候ハ出スベシ。

4. 5. 6（及ビ7ノ一部）ハ現在ノ状態ヨリモ過去ノ経路（簡単 徳教）ヲ重ンズルモノ 経路発達ノ状態ノ原因ヲ研究シ目的トス カカルモノヲ Genetic P.（発生的心理学）トイフ。コレ進化論ノ影響スル事ナリ。現在ノ状態ヲ研究スルハ過去ヨリノ経路ヲ研究スルノ要ス 故ニ経路ヲ研究スル 現在ヲ研究スル 併スナリ。コレ発生的心理学ノ目的トスル所ナリ

発生的心理学

精神作用ノ生理的基礎

精神作用ノ生理的基礎。 — 人ノ働キガ肉体ト密接ニ関係シ殊ニ脳髄ト関係ヲ有スルコトハ今日ニテハ疑ヒナシ。コノ説明スル事実ニ許多アリ。例ヘバ久シク脳髄ニ機械的打撃ヲ受クレバ覚知シ意識ヲ失フ或ハ病理学ノ研究ノ結果ノ如ク脳髄ノ一部分ガ病気ニカヽルカ或ハ傷ヲウケレバ意識ガ消失シ又脳髄ノ一部分ヲ電気ニヨリテ刺撃シ或ハ機械的ニ刺撃スレバ ソノタメニ一定ノ筋肉ノ運動ヲ惹起スルコトアリ（略）。脳髄ノ一部分ヲ除去スレバ少クモ一部ハソノ部分ニ関係シ筋肉ガ麻痺ス。カヽル如キ事ニヨリテ明ラカニ知ル。サテ人間以外ノ動物ニ就テ比較解剖 比較生理ノ研究ヲスレバ大体ニ於テ下等ノ動物ホド神経組織簡単ニシテ官能ニ乏シク 逆ニ神経組織ノ一部又ハ全部被離トナリ脳髄ノ大サ 重量 神経系統ノ複雑ノ度合等ガ大体ニ於テ知識ノ程度ト併行スルヲ見ル 此等 mind ト body トノ関聯ヲ物語ル主ナル事実ナリ。

脳髄ノ大サト知識ノ程度 — exception 多シ（研究）

— 重サ ——— 、— 平均ノ上ニ位シ居ル。

— 組織 ——— 、（脳髄表面ノ皺 convolution）（回転 Fissura 溝）

0 今日ノ主ノ部門

神経系統

神経系統　トハ、所謂神経細胞(Ganglienzelle)トソレニ附属セル神経ノ繊維トセヲナリ細胞ト繊維トカ一緒ニナリテ神経単位ヲ作ルモノ Neuron(神経元(原))ト称ス　ソノ数ハ無数ナリ或人ノ計算ニヨレバ約4000 million. 又ハ 11000 million ナリトイフ。

神経細胞

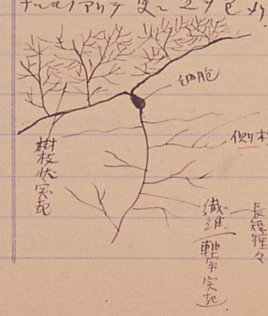
神経細胞ハソノ多クハ神経繊維ノ一端ニ位スルソノ場合ニハ種々ノ形ヲ成シ或ハ星形、或ハ三角状、或ハ紡錘状ノ、モ、ナリ又多数ノ突起(比較的短キ)ヲ出セリ、セヲ樹枝状突起

樹枝状突起

樹枝状突起(Dendriten)トイフ、然ルニ、コノ Dendriten 多クハ芝数ニ枝ワカレシ繊密ノ網ヲナスヲアリ場合ニヨリテハ神経ノ細胞ガ繊維ノ中央ニ挿マレタルヲアリコノ時ハ Dentriten ナシ、ナリ細胞ノ形ヲ多方ニ異ナリ神経繊維ハ其中央ニ軸索(Achsenzylinder)ナルノアリコハ芝数ノ極タル細キ繊維ガ多ク寄リテ成リソノ周囲ニ髓鞘(Markssscheide)ナルモノアリテ之ヲ包ム。然ルニ、ナホ其ノ上ニ神経膜ナルモノアリテ更ニ之ヲ包ム。

神経繊維

[Neuron 神経元 ,図]



コノ分岐ハ大体ニ於テ平行シ、細枝ナスト主ラズ

繊維ノ主幹トナシ樹枝ガ突起リ枝ニ成レリ。

白質、灰白質

white substance
grey ——

繊維ノ用

Neuronノ多ク集レル処ハ肉眼ヲ以テ大体ワカル繊維ハ黄色ヲ帯ブルモノ多ク集レル処ハ白色ナリ。白質ト称セル部ハ即チ繊維ノ集合セル処ナリ細胞体ハ赤色ヲ帯ブル灰色ニシテソノ多ク集合セル処ハ即チ白質ニ対シ灰白質ト称スル処ナリ。繊維ハ外ニ多クノ刺戟ヲ伝達スル役目ヲ有スルガ刺戟ノ伝ハル、今日未ダ明瞭ナラズ。只一般ニ一ノ流ノ如クナリテ存在ト伝ヘラルルモノトシテ神経流ナル流ヲ用フレバコノモノノ性質ハ不明ナリ(若ハ電気ナリトノ説アリ、或ハ細胞体ノ如キ化学的作用ニ依リテ作リ出サレタリトノ説モアリ)

nervous current

多数ノ神経元ハ互ニ接近シテ存シ其ニ繊維ヲ出デテ分岐(Collatellaten 側枝)ヲシテ互ニ接近セシカ又ハ接近セシカ或ハ実際接合セルヤハ明カナラザレドモ一方ノ繊維ニ伝ハル刺戟ガ他ノ繊維ニ伝ハッテ行クダケノ意味ニテ連絡ヲ有スルノミ。然リ、且シテ一方ノ神経元ハソノタメニ自己ノ独立ヲ失フガ如キコトハアラズ。

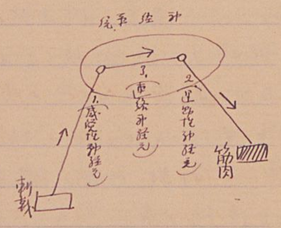
細胞ノ用

繊維ハ伝達ノ用ヲナセドモ細胞ハ如何ナル用ヲナスベキカ、ツイテモ諸説アリ。細胞ハ一ツガ自発的ノ力アリ単ニ伝達セラレテ来タル刺戟ノ通路タルノミナラズ或ハ之ヲ抑留シ或ハ之ヲ強メテ他ニ出スカ如キコトアリ又ハ自発的ニ刺戟ヲ他ニ伝フルカ如キコトアラントイフ。

神経元ノ種類 作用ノ上ヨリ考ヘテ三種ス。一ハ感覚性神経元、感官ヨリ内部ニ神経ノ興奮ヲ伝達スルモノナリ。二ハ運動性神経元、神経中枢ノ筋肉ニ神経興奮ヲ伝フルモノナリ。三ハ ネートルニトリ連絡スル作用ヲナスモノナリ。感覚性神経元ハ感官ニ発ヲシテ一般ニ外界ノ刺戟ヲ受ケル部分ニシテ運動性神経元ハ筋肉及腺ニ達ス。神経元ノ根本的作用ハ向内的ノ感覚ニシテ向外的ノ運動ヲ中枢ニ外界ニアル刺戟ニ反応シテ順応的ノ動作ヲナスコトニアリ。而シテ神経中枢ノ決動ハ運動トナリテ外部ニ表シ感覚ヲ完成セラルルモノナリ。

神経元ノ種類 作用ノ上ヨリ

神経系統



外界ノ刺戟ヲウケテ感覚ノ順応スル運動ヲ中枢ニ伝ヘシルガ神経系統ノ作用ナリ。故ニ此ノ敏捷ナル程高等ナル階級ナリ。

神経細胞ノ位置ヨリ見タル神経元ノ種類

神経元ヲ更ニ神経細胞ノ場所ニヨリテ分類スレバ三トナル、一ハ末梢神経元(Peripheral neuron)。二ハ皮質下(脳髄皮質)神経元(Subcortical n.)三ハ皮質神経元(Cortical n.)ナリ。

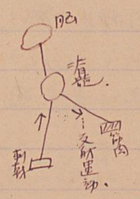
末梢 / 中枢 { 皮質 / 皮質下

末梢神経元ハ前述感覚性神経元ノ一ニシテ神経細胞ハ中枢以外即チ脊髄脳髄以外ノ所ニアリ。感官ヨリ来ル神経

皮質下神経元ノ興奮ヲ中枢ニ伝フルノ作用ヲナス。皮質下神経元ハ小脳大脳ト末梢神経元トノ中間ニ位セルモノニシテ脊髄延髄、四疊体、視神経床等ニ属シソノ働キハ一般ニイヘバ反射運動ヲヒキオコスト、中枢系統ノ活動ヲ先ヅスルトヲ司ル。

脊髄

脊髄ハソノ構造ヨリ考フレバ一方ニ於テ感覚ト筋肉トヲ直接ニ連絡シテ反射運動ヲナス。他方ニ於テハ脊髄自身ト他ノ神経構造トヲ連絡スル用ヲナス。



脳ニ伝達セズシテ運動ヲ来ス即チ反射運動ナリ。

脊髄以外ノ延髄、四疊体、視神経床ノ組織ハ神経元ノ構造ニ於テ脊髄ノ神経元ト類似ス故ニソノ作用モ大体脊髄ト同様ナリト推定セラルルモ一々ノ様子ハ今日未ダ明ラカナラズ。タダ左ノ二三ハ明白ナリトイフ即チ延髄ノ近傍ニハ呼吸ノ運動ト血管ノ運動ヲ支配スル作用アリトイフコト。脊髄ト同様ニ一方ニ於テハ大脳他方ニ於テハ感官、筋肉トノ間ヲ往来スル神経興奮ノ通路ニアルトイフコト。ナホ脳神経ノ中特別ハ感官ノ神経例ヘバ嗅覚聴覚味覚等ノ神経及ビ眼、耳、唇等ノ運動ニ関係スル神経ガ此処ニ終ルコトモ亦明白ナリ。

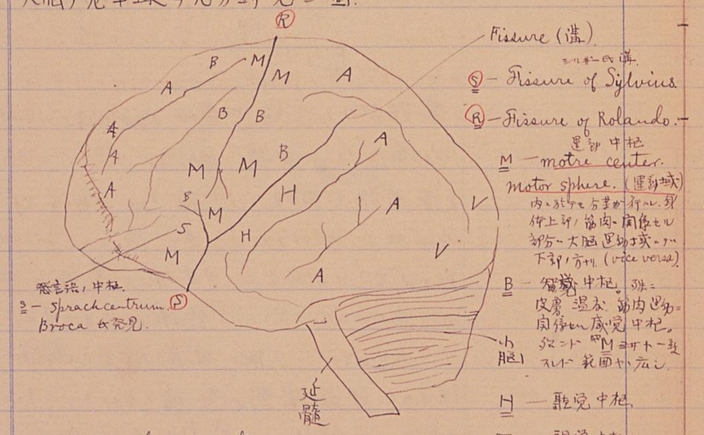
延髄

皮質・新神經元

小脳

皮質部神經元ハ分チテ大脳ト小脳ノ二部トス。小脳ノ皮質ハ、ソノ作用不分明、而シテ小脳ガ大脳ノ皮質下中枢ト密接ナル関係ヲ有セルコトノ構造ヲ見ル時ハ(連絡的)又小脳ノ作用ノ少ク身体ノ平均ヲ保ツニ関係セル作用アリトノコトハ多クノ学者ノ認ムル処ニシテ筋肉内膜弾ニ耳ノ内部ニアル三半規管(Semi-circular canals.)ガ未ダ感覚ノ基礎トシテ認メラレタルナリ如何ニシテカクノ如キ作用ノ小脳ニ帰セラルルカハ明カラズ。

大脳ノ左半球ヲ左方ヨリ見タ圖.



脳ノ分業
B. H. V. … 知覚 — 知覚域。
M. … 運動 — 運動域。
A. … 以上ノ中枢ヲ除キタル部分、各中枢連絡ノ用ヲナス。

大脳

大脳ハ二ツノ半球(hemisphere)ヨリナル。ソノ表面ノ部分ハ多クノ神経細胞ハ神経繊維ノ集リテ皮質ナルモノヲ作ル。此部分ニハ神経細胞ハ皆数ノ樹枝状突起(dendrite)ヲ有スル。ノ dentri tex ノ多ク出デタルコトガ人間ノ脳髄ト他動物ノ脳トヲ区別スル主ナル特徴ノ一ナリ。此皮質ノ部分ハ老人ノ意識ノ作用ニ関係スルモノトス。精神作用ニ関係ヲ有セルヲ今ヤ疑ヒナキ事実ナリ。一大ナドニツキテ大脳ヲ除去スルニナホ一年間モ生存セル実験ヲナシタル人アリ。又大脳ノ有無ニツキテ遺ハレル記憶・考察等ニナル精神作用ヲ欠クナリトス。大脳ノ皮質ノ部分ニモテ幾ラカ作用ヲ異ニス。昔ハ骨相学者 Gall, Spurzheim 等ノ人々ノ説ニシテ Phrenologie ニテ脳髄ヲ細別シテ各部分ニソノ作用ヲワカツナルモノ今ノ Science ノ上ニテ認メラレサレハ幾分カハ皮質ノ部分ニヨリ其作用ヲ異ニセルハ既ニ確定サレタル事実ナリ。一方ハ Fritsch 又ハ Hitzig 等ノ人ハ脳髄ニ通ジタル電気ノ刺戟ニヨリテ比較研究シタル結果ニヨリ。一ハ病理上解剖ノ結果ニヨリテ次第ニ明トナリ来レリ。

(眼ニ故障アリタル盲目ト、大脳ノ V. ニ故障アリタル盲目トハ大体同ジナレ共、今ハ同ジナルコトアリ。コノ際ニハ区別スルタメ単ニ Rindenblindheit (皮質盲) トイフ名称ヲ附スルナリ。

Seelenblindheit

2. Seelenblindheit (心盲) ハ眼ハ異ナルケレ共別スル能ハズ。視覚ニ伴フ記憶ノ作用ヲ欠ク。

H. ニ故障アリタル時ニハ 1. Rindentaubheit（皮質聾）、2. Seelentaubheit（精神聾）ノ二アリ。此ノ中ニテ耳ニ故障アリタル時ト同一ナレバ 2. ニテハ然ラズ。能ク耳ノ関係ヲ弁別シ得ルナリ。即チ皮質ノ記憶ニ関係アル一ノ知覚ナリト得。コノ Seelentaubheit 等ニ関シテ Aphasia（失語症）ノ事ヲ述ベン。

Aphasia 失語症

皮質ニ於ケル分業ノ働キガ如何ニ細別セラレタルカ又老人ノ単純ナリト思フ作用ニモ如何ニ複雑ナル作用ノ関係セルヤ知リ得ルナリ。Aphasia ハ言語ニ関スル病気ニシテソノ症状ヲ三別ス 1. visual a. 2. auditory a.（聴覚） 3. motor a. 之ナリ。visual aphasia ハ Seelenblindheit ノ一種ニシテ V. ノ部分ガ病気カカレバ乾因ス。言語文字等ニ就キテ形ニ見ユレドモソノ意味ヲ理解スル能ハズ。2. ハ H ノ部分ノ病気関係シ言葉ノ音ハワカレドモ意味ハ解スル能ハズ。3. ノ motor a. ハ言語中枢（S）ニ関シ発音ノ異常ナリ。発音ノ様関ニ故障アレバアラズシテ発語ニ病アルニモ、一ノ文字ニ就キテ有ル老人ノ観念ハ極メテ単純ナル程ナレバコレニハ多クノ器官ガ関係シテ成ルモノナリ。「文」ナル字ニ就キテモコノ視覚ノ感覚ノ感ジ、ソノ発音ヲ聞キタル時ノ聴覚ノ感、及ビコレヲ発音シ又ハ書ク運動ノ上ヨリノ感ジガ共ニ統ヒ合シテ「文」ナル字ガ出来ヲナルナリ

Consciousness & attention.

第一章 意識ト注意

意識

意識トハ如何ナルモノカ。十分ノ説明ハ難シ。僅カニ我等ノ覚醒中ハ意識アリ。熟睡中ハ意識ナシ。故ニ所謂精神現象ハ意識現象ノ謂ナリト。精神現象ト意識現象トハ全ク同一ト考フルヲ得ズ。今日他ノ精神現象ニ関スル研究ヲ行ハン。

Subconscious

意識的（アンザン）ノ精神現象アリトイフ。所謂 subconscious ノ如キコトナリ。（副意識的 od. 潜在意識的）例ヘバ Hysteria 患者ノ皮膚感覚ノ手ヲ取リテ鉛筆ヲモタセ例ヘバ手ノ甲ニ文字ヲ書ク時ハ老人ハ何等之ヲ意識セザレド鉛筆ヲ持テ同ジ文字ヲ紙ニ記ス（目カクシモシテオキテアリ）或ハ又催眠状態ニカカレシ人ガ醒メタ後ニ催眠中ノ暗示ヲ一定ノ時ニ実行スルガ如キ現象ナリ。（一年ト後ニ催眠中ニ示カレシコトヲ実行セシ実例アリ）老人ハ何等意識アルナク自然ニ為サルナリ。例ヘバ十二時ニ打ツタル件ニ右ノ手ヲアゲヨトイフガ如キナリ。カカル暗示ヲ（Post-hypnotic suggestion）トイフ automatic writing トイフモ自分ニ何等ノ意識ナクシテ文字等ヲ記ス。カカル現象ハ普通ノ意識ナシトセバ矢張リ一種ノ精神的現象ニ属サルベキモノニシテ人ガ内有セルモノ自己ノ心ノ中ニ起リ来ル精神現象ヲ考察スル時ハ下ノ如キ特性ヲ発見ス。

意識ノ特性

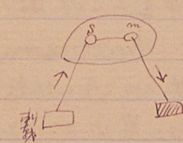
1. 意識ノ状態

第一、意識ハ常ニ変化シ決シテ一ト雖モ同一ノ状態ニ停留スルコトナシ。之ヲ又ソノ変化ハ状態ノ変化ニシテ其前後ニ於テ状態ノ間ニハ必ズ之ヲ連絡セルモノアリ決シテ突然ノ変化ヲナスコトナシ例ヘバ河流ノ如キモノニシテ

常に流レテ絶ヘズ止マラズ変化シテイル流ヤ連絡ガ同ジ刺戟ニヨッテ惹起サレル主観的状態ハ時トシテ多少ノ表達アリ又注意ノ状態ニヨリテモ異ナリ例ヘバ同ジモノヲ見ル場合ニモ物体ノ形状ニ注意シ或ハ色ニ注意スル場合アリ故ニ注意ノ集注セル状態ハ比較的変化サル地ナキ会ニ変化ナシトイフ事ハアラズ微密ナル意味ヨリスレバ全ク同一ノ状態ガ二度repeatセラルルコトハアラズ多クハ変化スル間ニ必ズ共通一ノモノアリテ、例ヘバAナル状態ハabcdニ変ジBナル状態ハabef、Cハ中ハagef、Dハ中ghefノ如クナリ故ニAトDヲ見レバ全ク変化セルガ如キモ中間ニAヨリDニ至ル変化ハ一ノstageヨリgradually、変化シテ突然アラズ注意ガ中ニ一見変化ナキ様ナレドモ全ク変化ナキ時ハ、精神疲労ナキコトナル故ニ注意スルガ如キ常ニソノaspectガ変リテ行ク(外ヨリ来ル刺戟ガ常ニ同ジトスル色盲人ノ主観ニモヨリ常ニ異ナル着色ヲウク而シテ主観ハ常ニ変化ス、深夜ニ聞キタル大砲ノ音ハ、浅夜ニ聞キタル大砲ノ音ト、戦場ノ間ニアリテ聞クモノ、群集ニヨリテ聞キタル大砲ノ音ナリ)

2 Passive active

第二ニ音識ノ特性トシテ注意スベキハ物体ノ音識ニ必ズactiveトpassiveノ両方面ヲ有スル事ナリ一方能ク中枢ノ指令ヲ受ケテ外界ノ刺戟ヲ受取リコレガ神経中枢ニ伝達セラレテ之ヲ感受スルトキハ音識ノpassiveノ方面ニシテ、ソレト共ニ吾人ハ注意ノ作用ニヨリテ外界ニヨリ来ル必ノ刺戟ヲ選択シ又組織シ又組織シタル間ニ連絡ヲツクル事ヲセザレバ知識ハ成立セズ、ソレトスル吾人ハ又外界ニ対シ刺戟ヲ与ヘル件ハ必ズソノ刺戟ノ性質ニ応ジテactiveニ何等カノ筋肉ヲ起シテ何等カノ特別ノ運動ヲセシメザレバ或ハ他人ノ運動ヲ制止スルヲ一般ノ特別ノ運動ヲナス。実ハ我ガ見テ取ラントスルハ外ノ刺戟ノ性質ニ応ジテノ運動ニシテ即チ刺戟ニ対スル一種ノ順応ニシテ単ニ音識ノactiveノ方面ヲ見ルベキナリ故ニpassiveトactiveノ両方面ハ何レモ場合ニ応ジテ表ハレテ存在スルモノニテ多クハ共ニ存在シイヅレカ其一方ガ主トナルトキハprobableノナリ



外ヨリ来ル刺戟ガ筋ニトラルカ、カクノ如キハ単ニpassiveノ方面ナリ。
単ニactiveノ方面ニアリテハ、注意トイフ事ガ関係ス、先ヅ第一ニ刺戟ヲ選択スル作用アリ。例ヘバ同時ニ聞キタル件ハ何何ナル物カ見エルソレヲナル特別ナルモノニ特ニ眼ヲ向ケル、ハ外界ノ刺戟ニ対スル作用ニアラズシテ単ニactiveノ方面ナリ。
本ヲ見テソノ色ヲ選択スルト共ニ又コレガ本ナル事ヲ認メルニ知識ヲ要ス知識ハ多クハ経験ニ連絡ガツキテ作リ出サレタル方面ニ又単ニactiveノ方面ナリ。

△凡ソ刺戟ヲウケルガ必ズ運動ニ続ク(ソノ運動ハ目ニ見エルカ又カニ物ヲスル)。而シテ場合ニヨリ刺戟ノ方ガ主トナリ運動ノ方ガ主トナルカ即チpassiveガ主トナルカ又ハactiveガ主トナルカガ異ナルニシテ、何ナル場合ニモソノ両方面ヲ備フ。

（集注サレル意識）

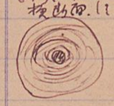
注意

以上述ベタ意識ノ性質ノ注意ノハタラキニ就キテ考フルニ一番ノ明瞭ナカタチ　注意ノ定義ヲキスル同ジ国籍ノ者人ガ肉眼ヲ以テ外物ヲ見ルトキ見ル目ノ力ノ届ク一定ノ範囲アリ之ヲ視野（Visual field）トイフソノ中ニテ比較的明瞭ナル部分ト不明瞭ナル部分トアリテ明瞭ナル部分ニハ不明瞭ナル部分ニ至ル処ニ無数ノ段階アリコレラノ部分ノ意識ノ範囲中ニテ明瞭ノ度合ノ異ナルモノ所謂スルモノナリ外物ヲ見ストキ知ラズ考フル場合モ同ジ意識ノ中ニハイルモノ在ルトシテコノ部分第ニ明瞭ナル部分ニ中心トナルモノ在ルトシテ第一ノ部分ニ比較的不明瞭ニ移リ行クカノ如クニ如何ナル意識ニモ第一中心トナルベキ又ハ focus トモイフベキモノノ存在セルハ即チ注意トイフハタラキノ存スルヲ説明セルナリ即チ意識ハ絶エズ変化シ行クモノナルガ変化変化スルハ単ニ意識ノ中心トナルモノガ変ルニイフノミニテ今Aガ中心ナリスル次ノ moment ニ於テBト代リテ中心ヲAハ比較的意識ノ偏遠ニ移ルカノ如キ中心ノ異動ガ即チ注意ノハタラキナリ

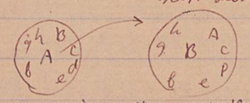
視野

視点

意識ノ核心部（1）



next moment



意識ノ範囲ハ即チ注意ノ範囲。

注意ノ作用

1. active

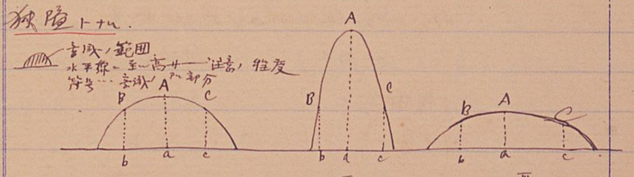
元来人ガ外界ヨリ受ル刺戟ハ無数ニシテ間断ナキモノナリ人ガ注意セルトキノミガ直接ノ経験トナリテ意識サレルモノナリ故ニ注意ノ作用ハ外界ヨリ来ル刺戟ニ対シテ選擇ノ作用ヲナセリ（active ノ方面）。注意ノ特質ガ意識ノアル部分ニ向ケラレタルトキソノ部分ハ明瞭ニナルトイフコトヲ以テ比較的永イ間継続サルルガ普通ナリ即チソノ場合ニ於テ注意ノハタラキハ意識ノ状態ガ絶エズ変化スルヲ防キテ意識ヲ整ヘル作用ヲナセルモノナリ

2. Inhibition

1. 機械的ニ同ジ動作ガ同ジ間ノ際ニテ repeat サレル場合ニ各人ニヨリテ又ハ一人ニヨリテ注意ノ状態ガ種々ニシテ各様ノ感覚ヲ生ズ　例ヘバ時計ノ音ニツキテモ各人ガ注意セル時ハ特ニ高ク感ゼラレ

2. 注意ノ一部分ニ集注スル代リニ他ノ部面ニ於テハコレニ関係ナキ意識ニ対シテ抑制スル Inhibition ノハタラキアリ

注意ノ強サト意識ノ範囲ノ広サニ関シテ即チ注意ノハタラキ強クナレバ従ヒ意識ノ一部分ニ明瞭ナル意識ノ範囲ハ広ク禁止ノハタラキモ亦著シクナレバ従ヒテ意識ノ範囲ハ狭隘トナル。



I. 意識ノ普通ナル場合

II. アル部分（A）ニ熱注セル場合

（Concentration）

III. 意識ノ散漫ナル場合（意識ノ各部分ガ一様ニ明瞭ニナリ且ツ其ノ範囲ニ広ガル。）

（Dispersion）

Concentration ノ因ニ於テ音力ガ絶対ニ高クナレバ ソノ範囲ハ一世界トナリテ範囲ハ世界ニナリ 異音無数ニ至ル。

Dispersion ノ因ニ於テ音力ガ絶対ニ低クナレバ因ニ於テ低ノ世界ノミトナリテ範囲ハ 世界世界トナリテ今ノ Concentration ノ場合ト因ニクラベル程ナリ。然シ乍実際ニ於ケル Concentration ヤノ方ニテ世界トナルハ寧ロ natural ナル tendency ナリシ Dispersion ノ方ニテ異音ガ生ズルハ unnatural ナリ。

注意ノ Concentrate セラレタルトキ伝ハル然シ乍範囲ガセマクナル。コレノ欠点ヲ補ヒテ範囲ノヒロクスルハ注意ノ中心ヲ早ク移スベキナリ。コノ方ニテハバコノ特効ノ作用ハ Distribution ナリ。Dispersion ニアラズ。アレニ Concentrate スルヲ待チテ ソノ必要生ズルニ伴ハ敏捷ニ他ニ Con ソノ中心ヲ distribute ニヲリカヘニ更ニ concentrate スルヲ待ツ時ハ時間ヲ要ス。

Concentration ノ方ガ発達スルハ Newton ノ如キ学者ト成リ Distribution ノ方ガ発達スルハ多芸家トナル女ニコノ方ノ機会ガ多シ。

研究学問トハ Concentration ノ作用ナリ。

Distribution

以上ヲ約言スレバ

⑥ ~~客観ハ今述ベタ~~「注意ノ強サト音域ノ範囲トノ関係ハ反比例ノ法則ニ従フ」ト結論スル。

生理上の制限

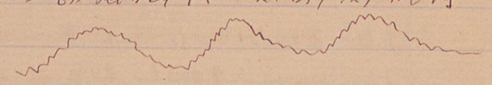
ヨリノ如クナル生理上ノ制限ニ基ヅクカ如シ。即チ神経ノ絶対ノ刺激ガ弾性ノ中枢ニ入リ来レバソレハ関係ノ神経ノ流レハ皮質ニ侵入スル能ハズ注意ノ強クナルニツレテ他ノ皮質ニ於ケル活動ハ全体トシテ先ヅ一致スルカ強クナルトキ至ルコノ傾向ガ強シ（他ノモノヲ排斥スルトカ同ノ傾向）

アル一部分ニ注意ヲ集注スルトキハ皮質全部ガソノ部分ニ協力シテコレヲ助ケルコトガ範囲ヲ狭クナル原因ナリ

注意の律動

而ルトカクノ如キ生理的制限ニ於テ「注意ノ Rhythm」Rhythm（律動・動揺）トイフ現象ヲ注意ノ強サガソノ中心ニ近クニ其ノ強サガ因ニ強クナルニツレテアラズ強弱ノ動揺ヲ生ジ実験的ニ知ルベシ。watch ヲトリテ耳ニ一定ノ距リニ置キ時計ノ音ガ漸ク聞コエル位ニ遠ク置キテ聞ク時ハ注意ヲ集注スルニ或ハ時ニ聞コエズ或ハ不明ナルコトアリ（順ニ近ク天ノ星ヲ仰ク代ニテモコノ実験ヲ）カクノ如キ動揺ハ大抵数秒乃至十数秒位ノ一定ノ時ヲ繰リテ repeat セラレ尋シテ比較的長イ目ノ注意ノ性質トシテ考ヘル時ハ因ニ表レル注意ノ動揺ト称ス

故ニ注意ノ強サヲ示ハ次ノ図ノ如キモノヲ得



例ヘバ朝ヒノ時ソレ程ハソノ各瞬時ニ強度アルト云フヨリハ寧ロ波ノ如ク表ハシ部屋夜学ニ於ケル注

注意の範囲

注意ノ範囲。　同時ニ人ガ幾何ニ多クノ事物ニ注意シ得ルカト云フニ元来問題トナルベキモノデアル。同時ニ一ツノ事物ニノミ注意シ得ルト考ヘラルルモノモアルガ今日既ニ実験ノ結果ニヨリ多クノ点ニ於テ同時ニ数個ノモノニ注意シ得ル最モ Suitable ナル状態ニ於テハ同時ニ二個ノ事物ニ同ジ強サノ注意ヲ均等ニ注ガシ得。極メテ短時間ノ間ニ簡単ナル線、文字、図形等ヲ露出シ直チニ之ニ注意スル時ハ大抵五乃至六ノ割ニ数ヘラレル注意スルコトヲ得。コレガ注意ノ範囲ヲ言ヒ表ハスモノデアル。

○○○ ・・・・
○○○ ・○・・
○○○ ○○○○

盲人ノ点字盤ニテハ六ツノ点ノ combination ノ異ナル文字ヲナス。コレ一定ニ制ヲ成シ一種ノ範囲ヲ作ル。但シココニ注意スベキハソノ中ノ又ハ六ツノ刺戟ハ常ニ全体トシテ注意ヲ惹クノミナラズ例ヘバ一ツノ刺ニ注意スル時ハ人ガ刺ノ全部分ガ見ヘル瞬間ハソノ各部分ハ一体 (whole) トシテ注意ヲ惹クノミナラズ、ソノ注意ノ範囲ガ五乃至六ニ及ブ。尚ホ意味ノナキ文字、文章等ニ至リテハ意味ノナキ文字ニ比スル時ハ注意ノ範囲内ニ入ル数ハ更ニ多クナル。(二倍乃至三倍)

例ヘバ HMN ナル文字ニ同時ニ注意スルヲ得ル時 THE MAN ノ如キ意味ヲ有ス文字ニ対スル時ニハ The, man ヲ各々ノ一ツノ whole トシテ注意スル故注意ノ範囲ハ意味ヲモ HMN ヲ見ル時ニ二倍シ得ル。

注意の強弱

注意ノ強弱。　注意ノ見方ニモ強弱ト分ル。

1. 注意の対象

例ヘバ注意ノ対象ニモヨリテ分チテハ感覚的注意 sensory attention 観念的注意 ideational attention ニ分ツ得。前者ハ外界ノ刺戟ニ対シテ感覚的ニ注意スル時ハ後者ハ観念ニヨリテ起ル注意ナリ。

2. 注意ノ目的 興味より

又ハ注意ヲ引キ起ス要件ガ注意ノ対象ソノモノニアリテ或ハ注意ノ対象ニ関係セル他ノ物ニアルカニヨリテ分チ得 immediate att. 直接ノ注意及 mediate att. 間接ノ注意ニ分ツ得。

例ヘバ子供ガ美シイ色ヲ見ル時ソノ色ソノモノニ興味ヲ感ズル時ハ直接注意ニシテ、勉強ヤ仕事ノ如キ或技ノ上ヲ考ヘル時ニハ勉強ソノモノニ注意アルニアラズ間接注意ナリ

3. 生理の方面より

次ニ注意ノ最モ重要ナル区別ハ voluntary attention (有意) ト Involuntary attention (無意) ノ二トナス。Voluntary att. ハ或ハ active attention トモ称シ Involuntary ハ之ニ対シテ Passive att. トイフ或ハ又ハ Spontaneous (自発的) attention ナルモノヲ設クルアリ (此ノ場合ニハ特ニ設クルモノ)

自発的注意トハ人ガアル事物ニ興味ヲ感ジテ完全ニ知ラズシテ注意ヲ動カスヤウニ特ニ用フルニシテ

也ニ対シ Involuntary att. ハ自分ガ注意セント
意志ナク又場合ニヨリテハ注意セサラント思ヘドモ
物ニヨリ注意ヲ引カレテ居ル 例ヘバ夢ノ続キノ
降鋭静寂ナル音ニ注意ヲ引カレルガ如シ

Spontaneous 初ノ意志ニ
Involuntary 意志ナク又ハ意志ニ反ス
不意的 又ハ不随意的

Involuntary 強意注意(Involuntary)トハ自己ノ注意セントスルノ意
志ナク所覚ニ対シテ注意スルヲイフガ場合ニヨリテハ
コレカラ注意セサラント欲スルニモ拘ラズ注意ヲ引カ
レルヲイフ. 例ヘバ強迫観念(Zwangsvorstellung)
強迫観念 ノ如キハ自分ガ注意セサラント欲スルニモ特殊ノ観念(ヒステリー)ハ脳ヲ去リ
ヒヲ取リ去ル能ハザルナリ。(神経衰弱ノ如キ失望狂ノ如キ
モ)又病的ニアラザルモ感情ノ激ノ多クハ強イテ其方ニ注意
ヲセザルヲ得ズ例ヘバ非常ニ悲ノ甚シキ時ニ当リ
思ヒ出ス、カリヨウ自己ノ意志ニ注意スルヲ以テ自然ニ注意
スル場合ニ多イナリ 刺戟ガ最モ強ク人ノ注意ヲ引カントスル
大体次ノ条件ヲ具フ者ニ属ス

1. 刺戟ノ強大ナル(ーさい) 並ニ強小ナル刺戟モ屢々repeat
セラルルカ或ハ強大ノ Contrast ノ為ニ注意ヲ引クコト
多シ。(contrast ナガ場合ニハ弱イ方ガ却テ interesting ガ強クナッテオル。大サ
ノミニアラズ小サイモノハ特ニ注意ヲヒク)

2. 情状ノ感ヲ異ニスルモノ 従ッテ異イタモノニ一般ニ注意ヲヒ
キヤスシ。ある種ノ刺戟ガ情状ノ感ヲ異ニスルモノ、人ニヨリテ強ク
数ニ各自ノ趣味習慣ガ大ニ関係ス。
不快ノ感ヲ惹クモノニ共同ニ注意ヲ惹ク事シバシバ不快
ノ方ニ幾分カ強勢ノ意志又ハ注意ヲ惹カレテ
ノニシテ Involuntary ニ為ス故ニアル程度マデ強ク
ナラザレバ注意ヲ惹カズ又注意ヲヒクモ永続的ノ性質ノ
シ。

3. 情状不快ニ関係ノ自分ノ生活上ノ利害ニ関スル
モノハ注意ヲヒキ易シ即チ生命上ノ危険、財産ニ関スル
コト身体ニ関スルモノ等ハ極メテ強ク刺戟ト成テ注意
ヲ惹キヤスシ。(母親ガ無邪気ナ子ヲ子供ノ泣キ叫ブ如キ)
カカルモノ実際ノ刺戟ニ接セザルモ単ニ想像ニ
カラスト雖モ強イ影響ヲ与ヘル程ノ性質アルモノ
生理上ノ作用ノ即チ直接ニ比較的アル他ノ特
別状態ニ対シテ強ク作用スル者ノ多シ(母親ガ
子供ノ乳ヲマサザルヘカラズト思ヒ by expect ノ情怒ノ
ヌル如キ。子ガ泣キテ自分ガ乳ヲマストイフ即チ生理的
(ーさい)
欲ガ興シテ居ル故、ソノ刺戟ニ対シテ鋭敏ナリ)。

4. 変化シ富ム刺戟ガ単調ナル刺戟ニヨリテ注意ヲヒ
キヤスク絶対的ニ何等ノ変化ナキモノハ注意ヲヒカズ
(特別ノ場合ガアル絶対ノ変化ヲ除ク)

注意と順應

要スルニ吾人注意ノ強弱ハ吾人周囲ノ外界ニ対スル順應ノ力ヲ示ス者ニシテ故ニ順應ノ力ヲ全ク失ヒ或ハ特別ニ順應ノ力ヲ有セサル時ハ注意ノ力ヲ有セス又順應ノ力ヲ失ヒタル刺戟ハ注意ヲ惹カサルモノニシテ例ヘハ周囲又ハ以上ノ実例ニ於テモノ言ハ注意ヲ惹クモノニシテ之ハ経験上強大ナル刺戟ハ常ニ其刺戟ノ強サニ比シ注意ヲ惹キ起スモノニシテ畢竟ソノ刺戟ニ対シ順應作用ヲ要スルカ為ナリ（indifferent ノモノハ adaptation ノ作用ヲ要セサル故ニ注意ヲ惹カサルナリ。水車ノ音電車ノ音ナドハ慣レタル人ニ対シテハ刺戟ハツヅケド既ニ adaptation ヲ要セサル故ニ注意スルヲ要セサルニ至ル）。

有意注意

有意注意（Voluntary）ハ Involuntary ノ如ク自然ニ起ルモノニアラズシテ故意ニ注意スルモノニシテ故意ニ努力ヲ要シ之ニ伴フ微弱ナル刺戟ニ対シテ注意ヲ払ヒ特ニ努力ヲ要シ深ク比意識ガ有意注意ノ特徴ナリ。人ハ有意的ニアル事物ニ注意スル時ニ必ズソレニ対シテアル準備ヲナス事必要ナリ。ソノ準備ノ一ハ感官ノ調節（accomodation of Sense-organ）ニシテ神経中枢ニ於テ既ニ自分ガ注意セントスル事物ニ関シ（ソノ事物ヲ）観念ノ種ヲ如ノ如キ呼ビ起スコトナリ。

感官ノ調節

感官ノ調節トハ人ガ注意スル最ニ適当ニ感官器官ヲ整置スルコトナリ。ソノ調節ニハ絶ヘノ絶類的ノ調節ト外物ヲ見ル時ニ眼ヲ動カスモ一ノ調節ナリ。物体ノ遠近ニ応ジテ眼球内ノ水晶体ノ屈折ノ度ヲ変スルモ一種ノ調節ナリ。音ヲ聞ク場合ニ鼓膜ニ音ガ聞エル如ク首ヲ動カシ或ハ香ヲ嗅ク時ニ空気ヲ吸ヒ或ハ物ヲ味フ時ニ舌ヲ動カスガ如キモ皆調節ナリ。（音ノ方向ニ耳ヲ向ケル為ニ首ヲマワスコト。エー種 accomodation ナリ。耳朶ヲ動カスガ如キ事ハ怪シ。）

ガ如上ノ調節ハイハヽ**機械的ノ調節**トカヲ称ベキガ又注意ニヨリ好ガヒヲ操作スル**消極的ノ調節**アリ例ヘハ物ヲ味ハヌ時眼ヲ閉ジ或ハ耳ヲ傾ケ音ヲキヽ息ヲコラスガ如キ一種ノ調節ナリ。外界ニ於ケル注意スルニテアル人ノ中ニ観念的ニ注意ナス場合ニハ因テ又注意ヲ集注スル適当ナル姿勢ヲ取（腕ヲ組ム首ヲ垂レル眼ヲ閉ズル）ニ由リ調節ナカラシメ感官ノ調節ハソノ結果トシテ一方ニハ感覚ヲ明瞭ニシ他方ニハ調節ノ結果トシテ起ル感覚ガ更ニ中枢ニ達シテ注意ノ他ニ影響セサルヤウニ防ガルヽ為メナス

観念の準備

次ニ人ガ注意セントスル物ニ関係セル観念ヲ比較スル観念的注意ノ場合ニハ注意ノ目的物ガ既ニ観念ナルヲ以テ言ヲ俟タズ感覚的注意ヨリハ観ノ音ニ注意スルガ如キ場合ニハ種々ノ観ノ響、形、人ノセリフ有様等ガ多ク人ノ中ニ落チ来ル。若シソノ人ニ思ヒ深ク観念強クシテ明カナル実際人ノ刺戟ヲ与ヘ居ラサルニ刺戟ガ所号アルカ為メ来ルニ至ル。コレ所謂**幻覚**或ハ**錯覚**！

幻覚 錯覚

Hallucination（客観ナキ外界）　Illusion（アヤマリ観念ヲ）

原因ナリ　コノ二つノ物ガ有言 住言ノ特色ナル要カノ感ヒヲ作ルモノナリ

(個人ト 社会ノ特色)

感覚論 Sensation.

感覚 刺戟

感覚ハ人ノ精神既系中ニアル比較的単化ナルモノニシテ客観的外界ニアル刺戟ガ人ノ感官ヲ通ジテ脳髄ニ伝ハッテ起ルモノナリ

感覚ノ分類

感覚ニ種々ニ分類シ得 大部分ハ内感覚ト外感覚トニ分ツ使ハス 感覚ヲ起ス刺戟ノアル場所ヲ指摘トスルニハ身体ノ内部ノ刺戟ニヨッテ起ルモノガ内感覚 身体ノ外部ナル刺戟ニヨッテ起ルモノガ外感覚ナリ. 視覚 嗅覚. 味覚 聴覚. 触覚. 温覚等ハ外感覚ニシテ筋覚. 関節感覚. 一般感覚 臓器感覚等ハ内感覚ナリ

感覚の Limit

刺戟ハ機械的ノモノ. 光線ノ刺戟. 音ノ刺戟. 化学的ノ刺戟. 熱ノ刺戟 電気ノ刺戟 等種々ノ刺戟アレド人ノ感官ハ分業行ハレテ刺戟ノ種類ニ応ジテソレニ適スル感覚ハ異ナリ 刺戟ノ強サ大サニ甚限リナキモ人ガ之ヲ感スル範囲ハ限ラレタリ故ニ例ヘバ音ノ感覚ニツイテ凡ソ 16 − 35000 (50000) 位ノ振動数ノ範囲ノミ感ジ得ルノミナリ. 露ち刺戟ニツイテ言ヘバソノ刺戟ガアル絶度ニ達スル迄 感ジガ起ラズソノ間ニテ感覚潜伏シ居ルノ為メニソノ度ヲコヘテ始メテ感覚ヲ起シ感ジナキ状態ヨリ感覚ノ状態ニ移ル限界ヲ

absolute T. 閾域

Threshold (of consciousness) ヲ閾域トイフ.

色サヘハ 昼ヲ軽ク陽光ガ 2mg. ナラ. 2mg ニ達シテ始メテ感覚起ル.

又人ガアル一定ノ刺戟ヲ既ニ受ケタル場合ニソノ刺戟ガ極メテワズカバカリ増ガアルトキ 感覚ノ増ガヲ感ズルニ過ギズ 数十分ノ色サヲ交ヘタル時ハ一色ニ色ノ色サガ加ハルトキヲ感セズ. イクラ少ト増セバ感ズルカイフハ ソノ刺戟ノ強弱ニ極ヒテ異ナル. ソノ刺戟ガ強ケレバ. 彼ニ増カスル刺戟ハ比較的大ラサレバ感ズル能ハズ

Relative Threshold

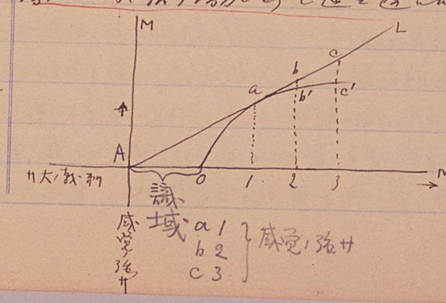
コノ場合ニテ一種ノ閾域存在セリ 前述ノ閾域ニ対シテ Relative Threshold (相対的閾域) トイフ. (上述ノヤツハ Absolute Threshold ナリ)

人ハ常ニ感覚ナキノ状態アラズ. 人ガ存在スル間ハ他ニ多クノ刺戟ヲ受ク. 故ニコノ二ツノ Threshold ハ理論上ニハ区別スル能ハズ.

感覚ト刺戟トノ関係

感覚ト刺戟トノ関係ヲ云フニ刺戟ノ増ガ二ツニシテ感覚ニ比例シテ増加スルニアラズ. 即チ感覚ノ増加ハ刺戟ノ増加ノ之ニ達シ難キヲナリ

(コレ threshold ヲ考ヘルナリ)



若シ刺戟ニ対シテ比例シテ感覚ガ増ヌルトセバ. 感覚ノ強サヲアラハス線ハ L ナリ サ ハ横ニ. 並ビニ a ニテ Threshold ニ達シ次ノ段ノ感覚ハ強ク感覚セラレ. 感覚ノ増加ハ曲線トナル

Weber法則

Weber氏ハ比例数ト感覚ノ関係ニツキテ一ノ法則ヲ発見セリ、即チ一定ノ刺戟ニ対シテハ一定ノ割合ヲ以テ刺戟ガ増加セル場合ニ於テハ之ニ伴フ感覚ノ増加ノ感ジ得ル程度ノ割合ハ常ニ一定ナリトスル。コレ即チ所謂Weberノ法則ト称セラルル所ナリ

(例ヘバ一定ノ刺戟ニ対シテ五ツニ分ツ増加シタル時ハ、ソノ割合ガ一定ノ比ノトキニ限リテ感覚ヲ得ソノ割合ガconstantナリトスルガWeberノLaw也)

音ニアリテハコノ一定ノ割合ハ $\frac{1}{3}$

電気ニアリテハ 〃 $\frac{1}{20}$

光ニアリテハ 〃 〃 $\frac{1}{100}$

Fechnerノ法則

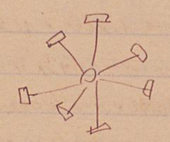
Geometrical progression 2. 4. 8. 16.
Arithmetical 1. 2. 3. 4.

Weberノ後ニFechnerハWeberノ法則ニ数理ヲ応用シテFechnerノ法則ヲ立テタリ即チ刺戟ガ幾何級数ノ如ク増加スル時ニハ感覚ハ等差級数ノ如ク増加ス。Fechnerハコレ以テ精神現象ト物質世界ト関係ヲ表スモノト考ヘタリ。Weberノ法則ガ直接ニ研究シ得ベキノ場合ニ応用スル能ハズ刺戟アマリニ強クナリタル場合ニハ適用セラレズ従ツテソノ法則ヲFechnerノ如ク解釈スル必要アリ

以上ハ感覚ノLimitノ法ナリ。

感覚の属性

感覚ノ属性(attribute)トシテ直接ニ認ムベキ所ノQuality(質) Intensity(強サ) Duration(長サ、継続時間) Extension(広サ、大サ)ノ四ナリ。感覚ノ質トハ一ツノ感覚ガ他ノ感覚ト異ナレル点ナリ。例ヘバ赤、青ノ色ノ感覚ノ質ナリ、音ノ調子モ亦質ナリ。Durationハ一ツノ感覚ガ引キツヅケル時ノ長サナリ。Extensionトハ空間上ニ於ケル広狭ニシテ大抵ノ感覚ニモ伴フモノ音ノ感覚ハExtensionヲ云フ能ハズ。Intensityハ例ヘバ電気ノ場合ノ如ク夫モ一定ノLimit有リIntensityニツイテモ亦Extensionニツイテモアリ大ナルモノ、アリ強キモノハ之ヲ感ズル能ハズアマリニ小ナルモノ、弱キモノモ亦感ズル能ハズ即チ或ル時間上ニ於ケルアマリニ短イ時間ニナレバ感ジ難クナリ一定ノ時間迄ハ近ク大抵感覚ナルモノハ潜伏(latency)シテオル



感覚各論

皮膚ノ感覚

第一、皮膚ノ感覚、Cutaneous sensation (Skin)

皮膚ノ感覚ハ皮ヲ通ジテ生ズル感覚ヲ総称スルモノニシテ例ヘバ圧ノ感覚、温度ノ感覚及ビ痛ミノ感覚等ヲ含ム。各人ノ皆ヒ解剖ヲ行ヒ強ク圧シタルニコレハ単ニ圧覚ノ一般ニシテ圧ノ強イ場合ヲ行ヒタリト知ル様ニ圧ノ感覚ハ皮ノ表面全体ニ於テ感ゼラルルモノナルガ特ニ皮ノ部分

圧ノ感覚

圧点

ニヨリテ感覚特ニ鋭敏ナル処アリコレヲ圧点トイフ (Pressure point. Druckpunkt). 圧点ノ配付ノ異ル処ニヨリテ同ジ大サノ圧点ノ密ナル処ニ感覚鋭敏ニシテ触ル処ノ鈍シ. 唇, 指頭等ハ感覚鋭敏ナリ背, 腰等ノ比較的鈍ク接シテ様子ノ少キ処ハ感鈍ナリ鋭敏ナル処ニテハ 2mg. ノ pressure ヲ感ズル能ハレル処ニテハ 5mg 以上ナラサレバ感セズ。又圧ノ感覚ノ強サガ多ク部分ニヨリテ異ナリ外物身体ニ触ル時直ニ見サレル限リノ位置ヲ感ジ得ル全ク部分ニヨリ感ジカ殊ナルニアリ. コノ部分ニヨリテ圧ノ感覚ノ異ナルヲ

局部徴顕

Local sign (局所徴験) トイフ。

皮膚ニ於ケル部分ニヨリテ感覚ノ度ガ異ナル

コノ local sign ノ鋭鈍ヲ知ルニハ Compas ノ如キ二脚器ヲ用ヒテ皮フノ異ナル部分ニ同時ニ圧ヲ加ヘテソノ圧ヲ二点トシテ感ジ得ルヤ否ヤヲシラベ, ソノ二点ナリト感ジ得ル距リノ大小ニヨリテ鋭鈍ヲ測定ス コノ local sign モ圧点ノ配付ノ状態ニ依存シ指頭, 唇ナドハ此ノ感覚ニ極メテ短距離ニテ二点トシテ感ジ得, 背ナドニテハ二三寸ノ大ナル距離ニアラズシテハソノ二点ナリト感ジ得ズ

感覚ノ性ナドハ平常ト異ナリ

温度ノ感覚

温度ノ感覚モ皮フノ表面全体ト粘膜ノ処トニテ感ガラレルモノナルカ此ノ感覚ハ圧ノ感覚ト同ジ様ニテ多少差異

作用行ハレ即チ部分ニ温ニ対シテ強ク感ジアル部分ニ特ニ冷タサヲ感ズルカ如キ処ニヨリテ異ナリ即チ温点 (Warm spot) 冷点 (cold spot) ナルモノアリテ発見セラレタリ 温度ニ比較的鈍ナリト云ハル実際冷ヲ感ズル人ノ体温ガ標準トナルモノナル皮膚ノ部分ニヨリテ実際ノ感覚ガ多少異ナリ.

痛覚

痛覚トハ苦ミヲ伴ハル感覚デ刺戟ノ強サガ増シテ来ル程ニ強クナルモノナル故一般特別ノ感覚ナルモノトシテ扱フ傾向アレドモ近来ノ研究ニヨレバ圧点温点冷点等ニ関シテ痛点ナルモノ存在シテソノ部分ノ特ニ痛ミヲ感ズル所ト考ヘラレ即チ配付ノ異ル圧点温点等ヲ数多身体全部ニ同ジク配付セラレタリ.

味ノ感覚

第二 味ノ感覚 (~~Taste~~ Taste sensation Geschmack)

味覚器官ハ主ニ舌表面ニ散在シタル地図色, 咽喉ノ一部分, 口蓋ノ部分ニ少ク多カレ少カレ感ズル味覚ヲ司ル部位ニ舌ノ表面ニ味蕾ト称スル部位細胞ヲ以テ成リ, コレヲ以テ味ヲ感ズルモノ 味ノ種類ハ非常ニ多クアレドモソノ相互ニ於ル味覚ノ種類トシテ挙ゲベキ四ツ位 Sweet (甘) bitter (苦) salt (鹹). sour (酸) 之ナリ. コノ四ツノ種類ガ種々ニ結合シテ世数ノ味ノ作ル一般ニ凡人ガ知ル味ハ純粋ノ味覚ノ外ニ種々ノ感覚, 例ヘバ視覚 触覚 筋覚, 嗅覚等ヲ含メリ. 視覚ヲ含メルトハ

味蕾

味ノ種類

例ヘバ明処ニテ食フト暗処ニテ食フト味ガ異ナリ、又色ノ良否ニヨリテ味ガ異ナル。**触覚**ト云ヘバ豆腐ノ如キ軟ラカキ感覚以外ニ味アル様ナ。**筋覚**ト云ヘバ唐辛子、山椒等香辛類ノ食物ハ舌ノ筋肉ヲ刺戟スルコトニヨリテ味アリ。**嗅覚**ト云ヘバ茶、飯、松茸等ノ如シ。コレラハ香ガ味ヲ助ケル。

舌の分業

舌ノ表面ニハイクラカ分業アリ。位置ニヨリテ感覚ヲコトニス。例ヘバ舌ノ端ハ甘味ヲ感ジ、根ノ方ハ苦味、両側ハ酸味ヲ感ズ。鹹味ハ全体一様ニカンズ。舌ノ中央部ハドノ味ニ対シテモ弱ク感覚ス。

嗅覚

第三 嗅覚 (Olfactory s. ; geruchs-)

嗅覚ハ鼻孔ノ内ニアル粘膜一部分ニ嗅覚ヲ司ル神経細胞アリテ之ヲ感ズ。

嗅覚ノ特徴

嗅覚ハ特異ノ多シ。コレ分類スルニハ若ク困難ニテ通常嗅ノ発スル物体ノ名ニヨリテ之ヲ色分スルノミ。既今学問上ノ分類トシテ比較的定説ト認ラルルハ次ノ如シ。Zwaardemaker ノ分類ニテ氏ハ之ヲ九種ニ分ツ。サレド若ク不完全ナルノミ。下等動物ニテハ嗅覚ノ大部分ヲ占メルノ多シ。感覚ニヨリテ空間ノ知覚ヲナセルガ如ク人間ハ動物ノ嗅覚ハ動物ニテモ多クハ之ヲ外ノ感覚ガ発達セルタメ嗅覚ノ如キハ役目ヲ他感覚ニナシ得ルニ至リシタメナリ。

(Romanes 氏ハ犬ニテ動物ノ感覚ニツキテ研究ス。ソノ犬ノ嗅覚ニツキテ研究セリ。由ルトコロ十二人ガ単縦陣ヲツクリテ進ミ最後方ノ Romanes ノ愛犬ヲコサス。アル処ニ至リテ犬ニ知レザル様ニ六人ヅツ左右ノ道ニワカル。犬ハ Romanes ノ方ヘ行ク。コレ Romanes ノ足跡ノ臭ヲ感ジワケタリ。同ジアシアトヲ十二人ガ踏ム故十二ノ感覚ガ重ナリシニモ拘ラズ犬ハコレ分数ニテ Romanes ノ足跡ヲ区別シタリ)

聴覚

第四 聴覚 (auditory s. ; Gehörsempf.)

聴覚の原

聴覚ノ quality ニハ音楽的ノ場合 Tone ト noise (雑音、騒音) トコレリ。

Tone

Tone ハ regular ナル音波ニヨリテ起ル純粋ナル音又ハ雑音ナリ。

noise

noise ハ不規則ナル音波若クハ極メテ短キ波 (波ノ数ニ個ニ達セザルガ如キ) ニヨリテ生ズルナリ。純粋ナル noise、純粋ナル tone ハ極メテ稀ニシテ通常混合音、楽器ノ音ノ中ニテハ多クハ noise ガ混ジテ居ル。見ノ如キ音ノ中ニハ多クハ musical ナル処ヤリ人間ノ音声ニテモ曲音 tone ニシテ多音ハ noise ナリ。tone ノ方ニテハ一振動ノ振動数 16-50000 位ノ振動ヲ感ジ得ルモノトシテ楽器音楽ニ用ヒラルルハ 64-50000 位ノ振動数ヲ限度トス

(小鳥ノ囀リ声ナド高音ノ楽器ニテハ高ク、鳴物ノナキ声ハ長ク高ク人ニヨリテ聞ケザル人アリ。)

Tone ノ性質

Tone ニハ三ツノ性質ヲ区別ス。Pitch (調子) Intensity (強サ) 及ビ Timbre (音色) 之ナリ。

Pitch ト云ハ音響振動数ノ多少ニヨリテ生ジ Timber ハ主トシテ基音 (ground tone) ニ加ハル partial tone, (upper tone, 部音、上音、副音) ノ加ハリ方ヤソノ部音ノ多少強弱

地頃等ニヨリテ表現ニヨリテ音器ニヨリテ音色ノ異ナル所以ナリ (ground tone ノ振動数ガ 例ヘバ音ノ100トスレバ副音ハ200, 300等)
基音ト副音トハ常ニ共ニナリテ老人ノ耳ニ達スル時ハ音波ガ色々ニ伸ビ縮ミシテ少シ注意スレバ直ニソレ聞キワケル事ヲ得 又老人ハ会話ノ場合ハ音波ハ共ニ結合シテ耳ニ入レバ何レモ同一ノ何レモ音ガ一緒ニナレルカ

耳の分析作用

又副スルヲ得 コハ耳ガ複雑ナル音ヲソノ要素ニ分析スル事ヲ得ルタメニシテ耳ノ播送器ニ所有セラルタルナリ
(コノ分析作用ハ耳ノ特徴ナリ 赤ハ黄ト緑ニ成シテ橙色トナレル時ハ眼ニハ橙色トナリ simple ナル色ヲ感ズルノミニシテソノ element ナル赤及ビ黄ヲ見ル能ハズ. 又音ハイクラ早ク repeat スルトコロヲ聞カズニ弾. 互ニ他ノ感覚例ヘバ味覚ナドニアリテハ甘, 苦 後等ノ味ガ早ク repeat セラルル時ハ味覚ハ変ナルナリ).

聽覚の生理

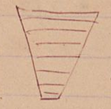
音ノ感覚ヲ生ズル大体ノ径路ハ先ヅ音波ハ外耳ニ入リ耳翼ニアタリソレヨリ外聽道ニ達シ, ソノ奥ニアル鼓膜ニ振動ヲ傳ヘ, 鼓膜ニ連接セル聽骨ニ伝ハリ, ソレヨリ内耳ニアル蝸牛殻 (cochlea) 及ビ半規管 (Semi-circular canal) 中ニアル液体ノ振動サセ, 之ニ接スル液体ノ振動ハ基膜中ニアル毛ノハエテル部位ノ細胞ニ伝ハリ聽神経ニヨリテ脳髄ニ達シ, 茲ニ音ノ感覚ヲ生ズルニ至ル.

外耳 { 耳翼 / 外聽道 / 鼓膜
中耳 聽骨
内耳 { 蝸牛殻 / 三半規管

(音ニアル時ハ空気ノ振動, 鼓膜ニ達シテ膜ノ振動, ソレカ固形体ノ音ノ振動トナリソレカ液体ノ振動トナリ, 遂ニ棒状ノ色ノアル細胞ヲ刺戟ス)

基膜

蝸牛殻ニ基膜 (basial membrane) アリソノ膜ノ幅ハ蝸牛殻ノ底部ニテハ比較的狭ク漸次上方ニ登ルニ従ヒテ広クナリ終ニソノ膜ノ振動数ノ部分ニヨリテ異ナリ今外ヒテ音波ハ伝ハル件ハ基膜ニ物理上ニテ共鳴ノ理ニヨリテ外部ノ音波ニ対スル振動数ノ有スル部分ノミガ振動スル結果コレニヨリテ複雑ナル音波来ルトコレヲ一々ノ要素ニ分析シテ別々ニ感ズルコトヲ得ルナリ.



性質長サノ違ヒタル部ノ張リタル楽器ノ如ク, 100ノ振動数ヲ有スル弟ハ100ノ振動数ヲ有スル音波ニ共鳴スルワケナリ.

三半規管

聽覚ニハ関係セズ

内耳ニハ蝸牛殻ト三半規管トアリ三半規管ノ中ニ液体アリソノ液体ノ中ニ Otolith (聽石) トヨバル石灰質ノ塊アリ身体ノ位置ニ傾ク時ハ之ニ従ヒテ液体ノ一方ニカタヨリ聽石ノ刺戟ハ内部ニアル神経細胞ヲ刺戟ス而シテ身体ノ傾キ方ノ方向ヲ感覚セル. 身体ノ平均ヲ保ツ器官ハコノ三半規管ナリトイフ.

視覚

視覚 (Visual)

視覚ノ生理

視覚ノ感覚器官ハ眼球ナリ眼球ノ底部ニ網膜トヨバレル神経細胞ノ網アリソノ部分ニアル神経細胞ハ棒状 rods 及ビ円錐状 cones ニ細長ノ細胞ニ一種ノ化学的変化ヲ与ヘテ光ヲ生ズル外ニ光線ノ刺戟ハ角膜ヲ

此硝子体液トイフ一種ノ液体ヲ通過シテレンズニ達シ、レンズノ後ニアル硝子液ヲ通過シ最後ニ網膜ニ達ス。網膜内ニアル杆状及円錐状細胞ハエーテルノ振動ニハ凡ソ440,000,000,000 — 790,000,000,000ノ振動ニ感ジ得。網膜ノ光線ヲ感ズル感ジ方ノ部分ニヨリテ異ナリ比較的中央ノ部分最ト云フ光線ニ感ズルノハ此ノ部分ヲ所謂中央小窩(fovia centralis)ト称ス部分最モ鋭敏ナリ。コレハ網膜ノ外側ニ至ルニ従ヒテ感ジ方鈍クナル。吾人ガ外物ニ注意ヲムケテ之ヲ見ントイフニハソノ物体ノ映像ガソノ中央小窩ニ落ツル如ク眼ヲ運動セシムル。コノ運動ハ眼球ニ付ク六ツノ筋肉ノ伸縮ニヨル。カカル運動ノ眼ノ Convergence トイフ

中央小窩

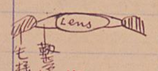
眼の調節作用

Convergence

輪状運動

外物遠近ニヨリテ視線ノ角異ナル。ココロヨク外物ノ距離ニヨリソレニ適セル視線ノ角ヲナサシムルガ convergence ナリ。

物体ノ遠近ニヨリ水晶体ノ屈折ノ度次ヲ増減スルコトアリ即チ近イ物ヲ見ルニハ水晶体ノ屈折ノ度ヲ多シ遠物ヲ見ルニハ屈折ノ度ヲ少クス　以上ニ述ベタ運動ハ眼ガ外物ヲ見ルガタメノ調節運動ナリ(accomodation)。



光線ニヨリテ生ズル感覚ヲ二ツニ分ツ光感覚及色ノ感覚ナリ

light sensation — colour sensation
colourless s. — colour s.

エーテル振動

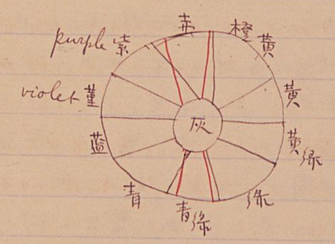
光の感覚
色の感覚

光ノ感覚ハ白ト黑トカ両極端トシソノ間ニ幾数ノ gray アリ之ヲ図ニアラハセバ一直線ヲシテ表シ得。色ノ感覚ハ通常七色ニ区別スコノ七色ハ prism ヲシテ光線ヲ分析セシム場合ニハ red, orange, yellow, green, blue, indigo, violet ナリ。サレドモ此ハ便宜上ノ区別ニシテ必ズシモ七色ニ限ラズ即チ青ト云フ violet ニ至ルマデノ色ノ性質ニ於テ劣ルハ orange, yellow 等ハ赤ニ類似ス色シテ blue ハ red トハ性質ヲ異ニシ violet ハ赤至ルマデハ青味ヲ帯ビテ来ルガ如ク色ノ感覚ハ光ソレハ如ク色相ヲ次ヲ表ハスヲ得ズ

光線

光色

Color circle



purple 赤ニ近ク
violet 菫ニ近ク

イヅレノ色ヲ起点トシテ考フルモ一旦ソノ色ノ性質ニ遠ザカリ遠ニハマタソノ色ニ帰復ス

今各色ノ波長ノ順ニ排列スレバ上図ノ如キモノナリ。コノ図ニテ互ニ直径ノ両極端ニアル二色ハ性質ノ最モ遠ザカレル色ナリ。カカル色ヲ反対色トイフ色ヲ二ツ以上混ズレバ例ヘバ反対色ヲ互ニ混ズレバ無色ノ割合ヲシテ colourless by light sensation

反対色(補色)

Complementary.

トナリ灰色 gray トナル故ニ反対色ヲ一名補色トイフ.
反対色ニアラサル色ヲ選ム時ハソノ中間ノ色ヲ示ス故ニ
上図ハ色ノ全体ノ構成ガ順環的ナルヲ示スト共ニ又
他ノ色ノ性質上ノ関係及色ノ観念上ノ関係ヲ
示ス。コノ図ヲ Colour circle 色彩圓 トイフ

補色

色ノ感覚ノ三的性質

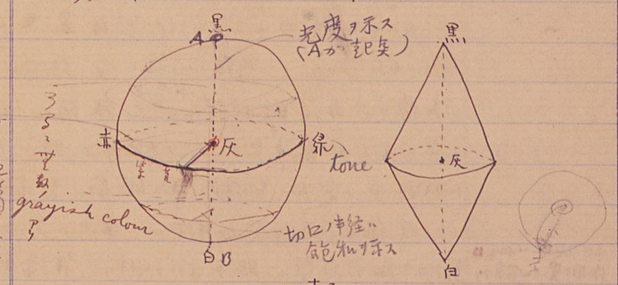
色ノ感覚ニ三ツノ性質ヲ区別スル一ハ色ノ Tone ニハ
Saturation (飽和) ニハ Clearness (明暗)
ナリ Tone ハ色ノ Quality ニシテ Saturation
ハ名人ガ prism ヲ以テ見事ニ分析セル場合ニ得タル色
ハ飽和ノ最モ完全ナル色ナリト雖トモコノ完全ナル色ニ白或ハ
黒ヲ加ヘテ行クハ純粋ノ色ヲ不純粋ナル色トナシ一方
ニハ次第ニ白味ヲ増シテ遂ニ純白トナリ純黒ニ次第ニ
黒味増シ遂ニ漆黒トナル故ニ如何ナル色ニテモ飽和ノ度合減ジツツアルモノ
ハ悉ク真色ノ感覚ニ移ル故ニ前述ノ色彩圓ニ於テ円ノ中心ヲ色ノナキ感覚ト考フルトキハソノ
周囲ニアル色ノ飽和ノ度合ハ円ノ半径ヲ以テ表スヲ得

Tone.
Saturation
調子ノ光覚ニ対スル関係。
色ノ濃淡トモイフベシ

~~同ジ表ニテモ色ノ濃キ方ガ淡キ方ニテモ飽和ガ完全ナリ~~
アル点ニ於テ飽和完全ナル処アリ. ソレヨリ黒クナルトモ白クナルトモ
飽和ハ不完全トナリテ黄色ニ近ヅク. 故ニ円周上ヲ起点トシ
テコレヨリ中心ニ向フニ従ヒ色ノ飽和ハ不完全ニ移ルモノ
トスル時ハ而シテ中心ニ達セバ悉ク黄色トナルベシ.

Clearness

明暗 トハ光ノ感覚ト色ノ感覚トニ共通ノ性質ニシテ光ノ強弱ノ観念ヲイフ
飽和不完全ナル色ハ黒味又ハ白味ヲオビテ薄ラル ソノ白味ノ増ス場合ハ明光度ガ増加スル
ヲ黒キノ増ス場合ハ光度ノ減少スル時ナリ故ニイカナル色ニテモソノ光度ノ増減ニヨリ無色感覚トナリ飽
和度完全ナル場合ニハ光度ノ中間ノ場合ナリ而シテ色ニシテ其飽和ノ度極ク遠ザカル程ニ光度ハ一定ノ強サ
ヲ必ズ決定スルモノナリ例ヘバ赤ノ如キ色ハ比較的ニ低キ光度ヲ要シ青ノ如キハ比較的ニ高キ光度ヲ要ス
故上 Tone, Saturation, Helligkeit ノ三性質ヲ次ニ示スコトニ色ヲ考フルトキハ次ノ図ニテ示シ得



つまり色彩圓ハ全ク不完全色ナリ
何トナレバ赤ト緑と飽和ニ於テ完全ナル色ナリ

図ハ完璧ナル球ニシテ ~~ソノ表面~~ ソノ表面ニアラユル色ニテ構成セラルモノ
トス 中央ノ最大ナル切り口ノ円ノ周囲ハ~~鮮~~ 飽和ノ最モ完全ナル
モノガ排列セルモノトシ. 而シテコノ切り口ノ~~円~~ 円ノ周囲
ハ即チ光度ニアル間ニシテ~~飽和ノ半径長~~ ソノ中心ニハ黄色ノ感覚アリ。 シカシテコノ切り口ニ平行スル切り口

視覺ト聽覺トノ根柢的差違
視覺ー化學作用. 聽覺ー器械的作用.
視覺ニハ多ク像ノ部ニ分析作用ナシ
聽覺ニハ ナシニ アリ.

フリリテ考レバ. 切口ノ円ノ半徑ハ次ニ短クナル程ノ速ク鮮明不完全ノ色トナリ. 光ガ減スルニ從ヒ色ハ濃クナリテ行キ遂ニ同ジ赤ナ色ニ似テ来リ極端ニ於テ黑トナル。又別ノ場合ニハ白トナル。

即チ赤. 又ハ緑等ノ個々ノ色ガ鮮明ノ出然ナルモ或ル一定ノ光度ヲ要スルナリ。コレヲ スコレヲモ吹ヒ ナルカ 暗ナルカ スレバ鮮明ノ度ハ減ジテ greyish トナル

視覺ニ関スル二三ノ現象

残像

第一. 残像 (after image) 光又ハ色ノ感覺ハ個々ノ化学的変化ニ基クモノナリ故ニ刺戟ナクナルモ感覺ノ方ガナホ残留セリ比較的若シ強ク聽覺ナリセルスルカラ 此ノ残ル像ヲ残像トイフ

残像ノ二種

残像ニハ positive ノ残像ト negative ノ残像トアリ

Positive

一ツノ光ガ強キ光ヲ見ツヅケテ眼ヲ閉ヅレバ一ツノ同ジ色ノ光ガ暫ク間眼ニ見エルカラ残像的残像ナリ之ニ反シ例ヘバ赤色ヲ見ツヅケタ後ニ眼ヲ閉ヅル或ハ白壁ニ眼ヲ向ケレバ青緑色ノ同ジ形ガ見エル之ハ消極的残像ナリ

negative

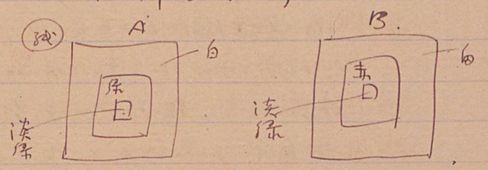
視覺ニ於ケル化学的作用ノ異ナル要素アリ一方ノ要素疲労セバ他ノ要素之ニ代リテ活動スルニ至ルベシ

コノ場合ノ方ガ補色ノ反対色ノ残像アラハレナリ

対比

消極的残像ノ例ナリ

第二. 色ノ感覺ノ対比 (Contrast) コレ色ノ感覺ガ前ノ感覺色ノ感覺ニ影響サレテ行ク例ヘバ赤ト緑トガ接近シ代ハル代ハル接近シテ来ル時ハ赤ハソノ補色ノ影響ヲ Contrast セラレ他ノ色ニ比ノ場合ニハ赤ノ補色ハ青緑ナル故. 青緑色ニ似タ様ニ感ジラレナリ



AトBトハ同ジ鮮明ノ淡緑色ヲ中ニオキテ見ルナレドモソノ周囲ノ色ガ赤色ナルトキハ外ノ異ナリ A ニテハ外ノ淡緑色ハスコシ見エ B ニテハ深緑色ガコイ見エル コレ即チ Contrast ニヨリ A ニアリテハ緑ガソノ補色即チ赤ノ影響ヲ淡緑ニ及ボシ. B ニテハ赤ガソノ補色即チ緑ノ影響ヲ淡緑ニカフルガ故ナリ

視野

第三. 視野 (Visual field)

アル一点ニ眼ヲ固定セル場合ニ眼ノカノ達シ得ル範囲ヲ視野トイフ 此視野ノ広サ実験的ニハカルニハ

光ノ見エル範囲　　色ノ見エル範囲

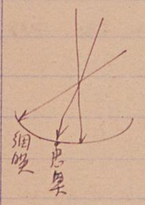
光覚ノ視野ト色覚ノ視野トハ同一ナラズ、光ノ方ノ視野ハ色ノ視野モカネテ広シ　同一色ノ感覚ヲ生ズル色ニツキテ視野ノ範囲同一ナラズ　普通ノ色ニツイテハ黄色最モ広ク次ニ青、赤、緑ノ順序ニ次第ニ狭クナリ。

遠方カラ赤ノ色ヲ近ヅケテ行クト先ヅ周ハ黄味ヲオビテ見エル。アル範囲ニ来ルマデハ全ク無色ニ見エル。

細膜ノ全体ノ部分ハ光、色ノ感受性ノ度合ガ異ナル。

細膜ノ中央ノ部分ニテ光ヲ多ク色ヲ多ク感ズ。

細膜ノハシニテハ単ニ光ノミヲ感ズ。色ヲ感ズルヲ以テアル球ノ色ヲ感ズルナリ。コノ細膜ノ部分ノ感受性ガ視野ノ大小ノ差異ヲ示ス。



以上ノ残像ヲモ比視野ノ三段ニ分チタルガ色ノ感覚ノ主観的ナルヲ見ベシ

以上ハ外感覚ナルガ今後ハ内感覚ニ関シテ述ベム

筋覚

六、筋覚 Muscular S.

筋覚ハ筋肉ノ緊張、収縮ニヨリテ起ル感覚ナリ。先人ガ手又ハ指等スベテ皮膚ヲ以テ外物ニフレタル場合ニ先人ハ一種ノ特殊ノ感覚ヲ受クル。コレガ触覚ニヨリテ発見シ難キガ如ク手足ノ運動ノ如ク関係スベキヨウナ筋覚ナルモノノ存在スルニ気付キシナリ

（立体的ニ感ジハ筋覚ニヨル。物ヲ押ベラレタリ）

筋肉ハ他ノ感覚器官ト同ジク知覚神経ニ配布セラレ筋肉ノ伸縮ニ伴ヒテ一種ノ刺戟ガ中枢ニ伝達サレテ感覚起ルコレガ筋肉ノ感覚ナリ

関節ノ感覚

七、関節ノ感覚 (Joint S.)

手足ヲ運動セシムル時ニハ筋肉ノ伸縮ノミナラズ多クハ関節ノ伸屈ヲ伴フ　関節内部ニハ神経ガ豊富ニ神経配分セラレ又関節膜中ニモ神経配分サレテ関節ノ伸縮ニヨリ一種ノ感覚起ル（此感覚ハ）アルカナキ先ハ手足ヲ自分勝カシタル場合ナラザルモ手足ノ位置又ハ運動ニツイテ意識スル様ナリ。

関節感覚 ― 筋肉ノ感覚
皮膚感覚 ― 外部 ―　} トイフ人アリ。

内感覚

（ligament）

筋肉ガ伸縮スル時ニハ筋肉ニ附着シタル腱（tendon）靭帯等、伸縮ニ伴フ一種ノ感覚アリ　故ニ先ハ運動スル時ニハ筋肉ノ伸縮ニヨリテ筋覚ノ外ニ関節腱靭帯ノ感覚同時ニ存在ス又血管ノ圧迫サレタルヨリ起ル感覚アリ　コレラノ感覚ガ一致セルヲ以テ所謂運動ノ感覚

運動の感覚

（Kinesthetic S.）ヲナス　カクノ如キ運動ノ感覚殊ニ筋覚ニ先ハ自己ノ意志ニヨリ筋肉ヲ動カセル場合ニ起レドモ他ノ感覚ニヨルモノハ能ハズ　後者ハ active ノ他動的 passive 的ニ区別スル言葉ヲ用ヒル。（能動的 passive 的ニ区別スル言葉ヲ用ヒル）又先ハ心ノ内ニ多クノ動ヲ行ヒスベテノ場合ニ必ズ多クノ筋肉ノ運動ガ起レリ其ガ

運動感覚ト精神生活

要点ハ故コニツノ事ニハ運動感覚ニ精神生活ノ作用ヲ及ボス。第一人ガ外界ヲ知覚スルニ役立ツ。例ノ形、大サ、距離等ヲ知覚スルニ役立ツ有力ナル働キヲナス。2. 又一方幼ナル経験ヲ記憶ニ残シテ連想ヲ蓄ヘテコヲ上ニ出シ運動感覚ノ助ヲ俟ツ。（学ハモ見テオボエルコト書イテ見ルコトガ出来オボエル。）見ルハ passive. 書クハ active 目ハ色ヤ光線ヲ受ケルノミナラズ一度オボエル迄ニ運動感覚ハ手ヲ動カシテ目ノ色ヲ見タリ一ツハ二ツノ運動感覚ヲ動用シテ active ニ精神ハタラキヲ知識ノ発達ニ寄与ス。学校学ブノ長所ナリ）

一般感覚

一般感覚（general S.）or 有機感覚（Organic S.）ハ"呼吸器、吸環器、消化器、ソノ他スベテ内臓ノ活動及ビ神経系、血液循環状態ノ時ニヨリテ起ル感覚ニシテ要点ハコレラノ感覚ニ結合シテ一体ナリ世人ノ俗謂"気分"ハ此ノ形ヲシテ出ルカラコレラノ感覚ハ特ニ一般感覚、殊ニ特ニ大ナル力若シ人ガ特ニ一般感覚ニ注意ヲムケル時、他ノ器官ニ強ク生ジテソノ感覚ニカハリ明瞭ニ意識サレテアラ（頭痛ノ如キ物ニ）空腹ノ一般感覚ハ外界ノ知覚ニ上ッテ人ノ関係少ケレバ人ノ全体ノ精神ノハタラキ上ニ大ナル part ヲ・フル。ソノ

S. — sensation

一般感覚ノ作用

動ハ function ヲ別ニスル。

1. 第一、有機 S.（sensation）ハ比較的変化少シ他ノ外部ノ感覚程ニ変化ナシ。有機 S. ハ依然トシテアルカ如キモノハ働キヲ為シ有機 S. ガ多数ニ変化スルトキハ変化ガ生ズルトキハ精神病ヲ起シテ来タリ此感覚ハ自然ノ意識ノ基礎トナルモノ

Leibnitz ナドハ此ノ人ノ熱烈ニ説ク如ク意識ト変化シテ此等ハ微妙ニ覚ユルガ如キ時ハ精神病ヲ起シ mad ヲ生ズル例アリ

2. 第二、有機 S. ハスベテノ精神現象ノ背景ヲナスモノニシテ此ノ背景ノ上ニ他ノ精神現象ガ出没変化スルノトスル。ソノ経ヲ比 S. ノ快不快ハ人ノ精神ハタラキ様ニ知的ハタラキニ密接ハタラキ影響ヲ及ボス

relative } threshold
absolute }

absolute threshold ト relative threshold ナリ。

一般感覚ノ快不快ニヨリテ人ニ活ジメラレタル時ハ驚ヲスルカ知的ニ他ニ注意ヲ生ジ又手ヲナサントスル will ニ活潑不活潑ノ別ヲナス

3. 第三、有機 S. ハマタ人ノ全体ノ健康状態ニ一種ノ影響ヲ及ボス。Weber ニヨリテ気分ノ不快ナル時ハ、必ズ身体ノ一部ニ故障アリ此時ハ活動能力ヲ減ジテオラズ

有様ハ研究未ダ分ラザレドモ精神生活ニ影響大ナルコト疑ナシ。夢ヲ見ルナドハ一般感覚一般ノ為ニ。寝ル前熟ノワルキ時、血液吸収ノ不快、腹ニ食物ヲキ場合等ニハ怖ロシキ夢ヲ見ル。寝ト像ナドモ然リ。平生ニテモ然ルニ夢ヲ見ル中ニ研ルソノ影響ノ大ナルヲ知リ得シ

知覚 Perception.

知覚作用
1. as a whole
2. apperception

者ガ外界ノ事物ニ対シ感覚ノハタラカシテソノ為ニ得ラレタルカ知ルハタラキガ知覚作用ナリ。sensation ニ比較的知覚ヲモ簡単ナル心ノハタラキニシテ知覚ノ方ハ種々ノ感覚結合シテ成ルモノニシテ其知覚ノハタラキノ結果トシテ

観念

観念(Idea)或ハ表象(Vorstellung)ヲ得ルモノト解釈ス。

Sensation、perception、Idea、Vorstellung 等心理学上ノ説ハ皆 abstract ニシテ各々独立セルモノニアラズ

{ Idea — 先天アガッタ結果 (Vorstellung ヲ同ジフナリ)
{ Perception — ハタラキ

即チ観念(又ハ表象)ハ実際ニ事物ガ外界ニ存在セザル記憶表象ノハタラキニシテ心ノ中ニ思ヒ浮ベル事物

知覚観念
記憶

知覚観念　　記憶(表象)観念

外界ニ存在セル場合ノ観念ハ記憶表象ニシテ考ヘラレル観念トノ間ニハ美醜ヲ異ニスル場合ニテ多クハ後者ニシテ比較的明瞭ナルコトニ外界ニ実物ノ存在セルトノ言葉ニ基ヘリ然シナガラ幻覚ノキ場合ニハ心ノ中ニ喫驚セラレシ観念ガ明瞭ナルタメ実物存在セルニ存在セルカ為ニ誤リタル知覚ヲナスマ様ナル事モ動ク様スル場合等ニテ果シテ実物存在スルヤ表ハ表象ナルヤソノ区別ニ迷フアリ。(ゴウカスカナ言ナル問ヒナリ)。

"as a whole"

知覚ノハタラキハ種々ノ感覚ヲ成ルモノニシテ多ハ人ガ鉛筆ヲ見ルニモ鉛筆ト分析セザル限リハ単一体ニシテモ幾種ノ感覚ヲ有スル例ヘバ一ノ机ヲ見タル場合ニ机ハ種々ノ部分ヲ有シ光線、色彩ノ差ハソノ部分ニヨリテ異ナレド老人ハソレラノ種々ノ感覚結合シテ机トイフ観念ナリトハ考ヘズ老人ガ机ヲ見タル解釈ハ as a whole 机トシテノ言葉ニ、文字ナドヲ見ル時モ然リ

然リ見ル時ハ as a whole トシテ見ル時ハ誤トシテノ知覚ナリ。老人ガ西洋人ヲ見ル時皆同ジ様ナ感ジデアル。然ルニ各々表眼、鼻等ニヨリテ difference ヲ感ズルガ故ニ眼鼻等ニ就テ知覚ニシテ誤ニシテ as a whole ノ知覚アルニアラザルナリ

知覚と過去の経験

なお机の知覚例にて云へば机の個膜に映ずる形状大小等は机の去に距離方向等によりて因一なれども吾人は常に違ひなく感覚因子に数て受取らるるが故に机の知覚としては一定の大さ一定の形状等に机として知覚せり又大理石製の机なれば色、形等はなるべくソレと触れし時の温熱粗滑の感覚との中に浮びて吾人が知覚のハタラキなる時は現在眼にて見る時にて今目撃せる通りの机の知覚せらるるは過去に於ける経験に吾人の教ふる処に従ひて知覚のハタラキなりしなりと考へざるべからず

然れども外面現象の間多くの例外化されやすいなるべし。然るに斯の如き外面の解釈に従へば noize の感覚は第一因にすれば過去の経験が現在の知覚を補ふことが出来ずして外面現象が明かに知られず。ただ bedeuting のみなるべし。

apperception (統覚)

故に知覚のハタラキは常に外界の物を一体として知覚する作用の外に過去の経験を再現して新しき経験と旧き経験とを連絡せしむる作用にて吾人現在吾人が知覚する物体が過去の経験と連絡されて知覚となりて初めて吾人にとりて意味なきものとなるべし。かくの如きに知覚する代に物は経験と連絡せしめて再認統一するハタラキを apperception (統覚作用) といふ。この作用により吾人が外界に対する感覚的の材料が一定の形式と意味とを持つ事物知識となるなり。

知識

知識とは知識の材料を寄せつる material にすべき sensation の集まりにすぎざるなり。材料が受けとられたるままにては知識とならず。即ち数学的材料なれば、これが消化されて他の形式となり生きて活きたる身体の血肉となる。assimilation (類化) を経て一の Form となる。この Form を作ハタラキが apperception なり。即ち現在の知覚と過去の経験とが結合して Form をつくるなり。かくて知識は出来る。

蝉の鳴声が何なれば聞くとは apperception のハタラキが異なるなり。即ち過去の経験が異なる故也。

知覚の passive と active

なお此の如き統覚作用は簡単なる構部作用の複雑なるハタラキにして存在の知覚作用の如く外界の来れる刺戟を受動的に受取るにすぎざるものと、或は主観的に吾人が過去に於て得たる経験を active にハタラかしめて知覚せるなり。殊に知覚のマチガヒたる場合即ち illusion の場合を考へれば一層明瞭なるべし。

知覚には knowledge を含めば感覚の時に之を含まず感覚は meaning を有せず。赤青白と感ずるは sensation。青色が過去の経験と結合せざる

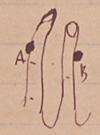
perception ナリ。

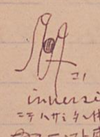
上リ列車ト下リ列車トガ並行シタ代ニ他ガ動キ出シタ時、ワガ列車ノ動クト感ズルモノハ illusion ナリ。

近眼鏡ヲカケタ者ガ歩カズニ千鳥足ヲスルヤウナリ錯覚ナリ。コレ apperception ノ異ナリテ、~~今ニテ~~ 非常ニ明瞭ニ見エル故、ソノ原因ヲ足ノ下ニ置イテ、実際ハ直ニ指ト指トスルナリ。コレガ仮然ニ今マデ揺ラギ経験ヲ基トシテ適応セシム錯覚作用ナリ以テナリ。

○ 二ツノ物ノ錯覚。一ツノモノガ二ツニ感ズルハヤハリ過去ノ経験ヲ基トシテ apperception ノハタラキ増ス。A.B ニ点ニ感ルナラバ二ツト思フ也。

知覚の発達 知覚ノ発達。





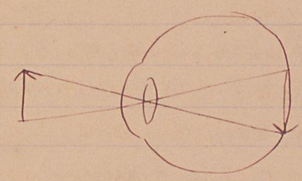
inner side ニテハガキヲ作ル。一ツト感ズル 経験アル也

随意的の筋肉の運動

故ニ上ノ如キ知覚ハ第一ニ habit ニ見ルベキ例ヘバ平面ニ ▱ ノ如キ画ヲカケバ立体ノモノト感ズルカ如シ。故ニ子供ガ母服ヲ去ラシ者ナイ。未タ何等ノ習慣ナキヲ以テ従ツテ知覚ハタラキモ弱イナリ。故ニソノ見ル世界ハ既ニ述ベタ如ク、互ニ以テ経験ニ基ヅキ同ジ様ニ感官ノ刺激ヲ受ケバ知覚ノ作用ヲ発達ス。也後ママナキ間ニ子供ハ手足ヲ随意的ニ運動スル様ニナルニツレソノ間ニ知覚ハタラキモ不完全ナリ。筋肉運動発達スレバ自ラ律シテ知覚モ発達ス。外界ノ知覚ハ新ラシ。他ノ感覚ガ互ニ連絡スル処ナケレバカラズ例ヘバ物体ノ距離方向大サ等ハ皆ノ感覚ノ運動ノ感覚ト視覚トノ連絡ガ起ラザレバ完全ニ立ツ知覚ハ見ルカラ随意的ノ筋肉ノ

運動発達セザル間ハ感覚ノ間ニハ連絡ナキタメ知覚不完全ナルナリ。然ルニ多人成人ナレバ目ニ耳ニ物ヲ聞クモソノ音ガ如何ナル物体ニ初テ発セラレシカソノ発音体ノ大サ形状等ヲ同時ニ知覚シ得。

盲人ノ見シ赤ト色人ノ見シ赤ト meaning ガ異ル。先天的ノ盲人ガ何カヲ行ヒテ眼ガ見エタル時ハ赤ヲ赤ト見シ時ト同ジク各感官ノ連絡不完全ニシテ遠近ノ感覚ナキ故



コノ倒影ガ正シク見エルハ視覚ハ運動ノ感覚ノ連絡ヲ経タリ。上下ノ感覚ハ視覚ノ関スル事ニアラザルナリ

カクノ如クニ独リ感覚ノ連絡ガ成立セシ上ニテ知覚ノハタラキ発達シ成人ガ外界ヲ知覚スルニツケテハ既ニ外物ノ如ク変ル多ク特殊ニ知覚スルガ如キ等ハ改ムル必要アルスル点ノミヲ知覚スルナリ故ニ発生ノ経験ヲ重ネテ知識増スニ従ヒ不完全ノ点ヲ必要ニ応ジテ発達スルナリ

故ニ第一 outline ニ注意シテ以テ次第知覚ガ必要ニ応ジテ特殊ナル事ヲ生ル

repeat 繰返

故ニ習慣ニヨリ同ジ刺戟ガ屢々repeatセラレル場合ニハソノ知覚ハ不完全ニナリテ完全ニナルサマ。故ニ知覚ノ発達ハ一方ニ於テハ感官ノ発達ニ伴フモノニシテ段々多ク知覚。

2 注意 鋭味

聴味覚発達ニ伴フモノニシテ段々多ク知覚。聴味覚発達ニ並行シテ発達スルモノ也。

盲ト見ル人ニテハ眼鏡ナル眼鏡ダケノ特徴ニ注意シ、ソノ他ノ点ハ注意セズ知覚ハ常ニ不完全ニナル故他ノ点ハ注意セズ知覚ハ常ニ不完全ニナル

完人ガ知覚ヲ完全ニシテ行クタメハ数多ク繰リ返スノミナラズ又観察点ガ異ナリテ行ノ即チ野ニ興味ヲ以テ見ル事ニ

空間ノ知覚 及時間 Space P. と Time P.

空間の知覚

空間ノ知覚トハ外界ニ於ケル事物ノ位置大小形状ノ範囲ヲ知覚ヲイフ。

Position { distance / direction

先天説

空間ノ知覚ハ如何ニ起来ルカニ関シテハ一ハ先天説(Nativism)ニテコレハ空間ノ知覚スル力ガ各人ノ感官及感覚中枢ニ固有ナルモノニテ経験ニヨリテ生ズルモノニアラズトノ考ナリ。他ハ経験説(Empiricism)ニテ空間ノ知覚ハ経験ニヨリテ漸次ニ発達シ来ルモノナリト云フ此ニ於ケル今日一般ノ傾向ハ右ノ両説ヲ持チテ来ルモノナレドモ今日ノ如ク大体ノ傾向ニ於ケル物ノ Extention ヒロガリ或ハ Volume 容積ノ感覚ハ先天的ソナハルモノトスルモ距離方向大小等ノ知覚ハ経験ノ結果ナリトスルナリ。スベテ如何ナル感覚モ多少ハ空間ノ知覚ヲトス性質ヲ持ツモノナリ特ニ空間ノ知覚ニ密リテ有力ナル人多クソナスモノハ視覚触覚(運動感覚ヲモ含ム)ニシテ其他ノ感覚ハ甚タ不完全ナリ例ヘバ味覚嗅覚聴覚等モ空間ノ知覚ヲ与ヘルカラ知レナイケレドモ多少傍今ニシテハ他ノ感覚ノタスケヲ云ハサレテアラサルモ多少傍今ニシテハ他ノ感覚ノタスケヲ云ハサレナイ研究ノ効ヲ収メタ為ニ今日ニテハ視覚及触覚ニ単独ニ空間知覚ヲナス所ハ実際ニ於テハ稀シ多クハ両者連合シテ完全ナル空間知覚ヲナス様ニ保。

触覚による空間知覚

触覚ニ於ケル空間知覚。

1. 位置

触覚ニ於テハ皮膚ニ於ケル local sign ガ最モ重要ナル人多クソナスガ先ヅ立ツテ居ル眼ヲ閉ヅルト刺戟ガ身体ノドノ部分ニ触レタカヲ知ル即チ刺戟ノ皮膚ニ接シタル位置ヲ知ル

visual image 視覚心像

視覚心像 visual image ガ如何ニシテアラハレ来ルカヲ考ヘルナリトス

l.s. + v.i. / m.i.

例ヘバ刺戟ガ手ニ触レタト感ジタレバ local sign ヒトツダケ其点ガ違フ。因ハソノ刺戟ノ触レタ部分ノ形ガ如何ニ分ルカ。コレ即チ visual image ナリ。先天的ノ言ハヾ右ノ visual image ハ出来ナイ motive image ガ強クアラハレ来ル即チ例ヘバ手ガ動カシテ感ジナガラ手ガナイト其間ニ運動ノ感覚ガ異ル。コレモアリテ刺戟ガ皮フニ触レタ時ハ motive image ヒトツデソノ位置ヲ知リ得。盲人ガ杖ヲ持ツモ触覚ニテハ手ニ触レタ刺戟ニ用ヒテ居ル。盲人ハ又感覚

盲者(異ニ於ケル異ナレル内的触覚(運動感覚) m.i.

(ハ)ナリトス

例ヘバ人間ニ物体ノ投ゲラレタ時ニ眼ハ其物体ノ部分ノ目撃セル色ヲ見タ時ニ其部分ニ触レタカヲ知リ得ル此ハ経験ニヨリテ一致シタ視覚ト触覚トノ間ニ一定ノ連絡ガアルカラ眼ヲ閉ヅルト物体ニ触レタ部分ノ視覚的観念ガ浮ビ来ル

visual image ナリ。

盲人 { 外物触覚 — 杖 (視覚ニ像ノ代リニ)
運動感覚 — 眼的視覚

触覚感覚ニシテ見タリ見合ハセテ外ナカ空間知覚ノ
Aign トナル。

外物存在ニハ存スル時 (他人ノ手足ノ位置)
{ 運動感覚
運動後ノ形状 (視覚印像)
前腕ノ曲伸ノ程度ト膝ノ屈伸ノ程度ト
軍動感覚
合ハセ運動感覚ノ
(運動感覚ノ位置差異)

以上ハ外物ガ直接ニ身体ニ接触シタ物合ニ於ケル部分ニ触レシカリ知覚スル作用ナリ次ニ外物ガ他人ノ身体ニハナレテオル際ニソノ位置形状大小等ノ触覚ニヨリテ物ノ知覚スルトキノ先ヅ外物ノ位置ヲ知覚スルニハ他人ガ手足ヲ動カシテ其物ニ接スル運動感覚ガ基礎トナリ位置ヲ知覚シ得運動感覚ニ他人ノ手足ヲ運動スル距リト方向トニヨリテ異違アルヲ以テ視覚ノ助ケナクシテ外物ガ他人ノ距リト方向ヲ知リ得従ツテソノ位置ノ観念ヲ得自分盲者ノ人ニシテハ此際視覚ノ像ガ補助ノ役ヲ演ズルニ過ギザルベシ

(タヾ星スルニカスカ同時ニ物ノ遠近ヲ知ル為ニ visual image ヲ得。)

他人ノ手足ヲ動カス運動感覚ハ異ル点サルコトヲ外物ノ他人ヲ去ル距リト方向トヲ知覚スルヲ得ソノ位置ヲ知リ得

運動感覚 { Quality 質
Quantity 量
or (intensity. 強弱)

同ジ距リニシテ上下左右ノ動カシ方ニヨリテ感覚異ル
一大動カスト時ハ筋肉ニ大動カ体内感覚ガ異ル。

II. 形状大小

形状大小ノ知覚、最モ簡単ナル物合トシテ指頭ヲ物体ノ表面上ニ運動サス場合ヲ考フレバ此時、指ノ色ヲ、方向ヲ運動サスタルソノ方向距離ノ長短ニヨリ異リタル運動ノ感覚執ル。
且又ソノ物体ト接触スルヲ線的ノ触覚連続シタ結果ソノ運動感覚等ノ点ヨリ見テ物体ノ大小形状ヲシテ指ニ接シ代リテ掌ノ如キ比較的広サアルモノニテサワリノ其知覚一層明カトナル。カヽル場合ニハ local sign ヲ以テ区別サルル結果ノ触覚ヲ用ヒ

ヒヒ感覚ニハ { 触覚 — 外部(的)触覚
運動感覚 — 内部(的)触覚

ヒヒ成ル時ニハ物体ガ動ク大ナルトキハ両手ヲ指ノ内側ニヲ当ヘル等ノ如キ時ニ触覚運動感覚ノ外ニ関節感覚ガ加ハリ以テ隙ル的ニ形状大小等ノ知覚スルヲ得。

視覚

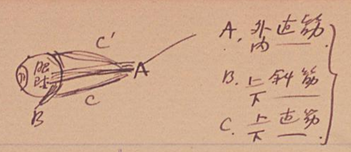
視覚ニ於ル空間ノ知覚。
触覚ニヨル空間ノ知覚ハ視覚ニ比スレバ比較的不完全ナリ、何トナレバ他人ノ手足ヲ以テ同ジク触シ得ル部分(範囲)ニハ一定ノ範囲限ルベキ為ニ視覚ニヨリテ遠方アルカ又非常ニ大ナル物体ニテモ隙ル的ニ知覚シ得、故ニ視覚ノ空間知覚ハ我ニ意味セラレタルモノニテ完全ナルモノナルカ視覚ノミニ自身ハ決シテ空間ノ知覚ヲスル力ナキモノニテ触覚運動感覚ト相俟チテ空間ノ知覚ヲナシ得。

I. 形状大小

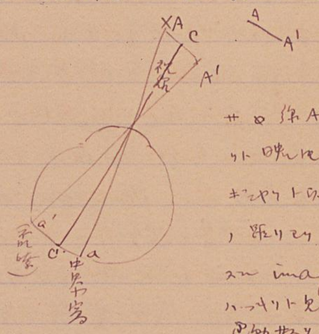
物体ノ形状大小等ハ触覚ノ場合ニテハ手足ノ運動ニヨリテ見ルベキ感覚ガ基礎ニナリテ成立セラルルモノナルガ視覚ノ時ハ眼球ノ運動ニヨリテ生ズル一種ノ感覚基礎トナル。

眼球

眼球上ノ感覚ハ部分ニヨリテ一様ナラズ各々特色ヲ有シテ居ル触覚ノ local sign ニ相当スルモノモ、コレト限ル運動ト結合シテ物体ノ形状大小ガ知覚サルルモノナリ。外物ガ網膜ノ中心ニナルトキハ中央ナル窩ノ部分ニ落ツル代ツテ眼球ヲ動カシ視線ニ其他ノ部分ニ映ズル不都合ナル為ニ他人ガ物ヲ



此時ニ見レバ、所謂視線ノ其象物体ニ向カフヨウニ眼球ニ付テ云フノ筋肉ノ收縮ニヨツテ眼球ノ運動サスレバ其際該ノ運動（内的大小ニツノ出ス筋感ト）~~ト感覚ト~~網膜ノ local sign トモ名ベキモノト左合シテ空間ノ知覚ヲナシ得セ）眼球ノ運動ガ比ノ大小形状ノ知覚ニ相メテ必要ナル人ガ眼ヲ動カサズシテ外界ヲ見レバ其知覚極メテ不完全ニシテ恰モ手足ヲ動サズ縛ラシテ身体ニ触レタル物体ノ大小形状ノ見当ニ知覚ヲ働カサルト同ジ様ニナルトイフコトヲ説明シ得。



サテ今A—A'ノ如キ物体ハハツキリト映ル網膜ノA'ニ a' ノ如ク投ゼラレテヤツトイフコトニナル。然ルニ ac a'c' 間ニアル距リヨリ A—A' ノ長サヲ成スコトガ image ヲ得。即チ A' ヲハツキリト見ルタメ眼球ハ A—A' ヲ運動サスノ要アリ、コノ運動ノ image ヲ合スルナリ。

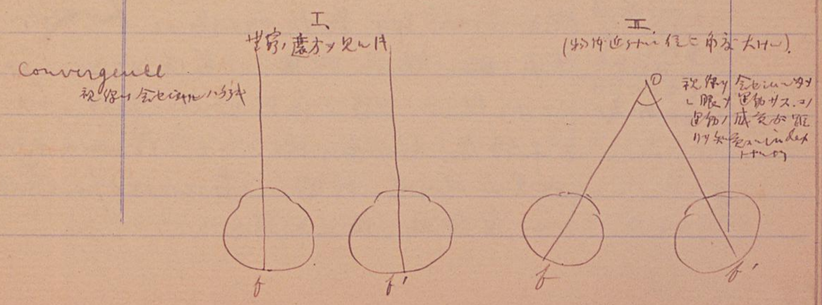
A ノ対象 a ニ対シテ。ac ノ距リニ対応スル成覚アリ
A ヲ明瞭ニ見ントスルニハ ac' ヲ
運動サスベシ 即チ ~~ac~~ A ノ映像
C' ニ来ルタメニ眼球ヲ運動サスル
方向距リガ ~~視覚ノ方向~~ 直
接強イテイフ image トシテ思ヒ浮ベル
又コレト成覚ヲ加フルコトニヨリ
メ一目ニテ AC ノ距リ大小ヲ知リ得。

視・l+v.i.
知覚的感 l+m.i.
眼 網膜上ノ成覚
+ 眼球ノ運動

II 距離

距離 視覚ニヨツテ距リヲ知覚スルハ、触覚的ニ直接的ナルヲ得ズ。元来物体ノ遠近ハ手足ノ運動ニヨツテハカルモノニシテ触覚ニ基クモノナリ。人ガ物体ヲ見テ距離アルヤヲ知ルハ、第一其物体ニ人ガ触レルヲ要ス。第二運動ノ結果ニシテ眼ノ成覚ノ大小ヲ意味ス。視覚ニヨツテ距離ヲ知覚スルニ先ヅ一眼ニヨツテ知覚スル物体ノ大小ハ物体ノ距リニ従フ。眼球ノ調節 ~~調節~~ ヘカラズ。故ニ之ノミニテハ知リ難シ。運動ノ成覚即チレンズニ附スル筋肉ノ成覚ガアル故ニヨツテ距リノ知覚ナルモノ。也ズ。Since 一眼ノミニテハ距リノ知覚ハ極メテ不完全ニシテ十分距リヲ知覚スルガ為ニハ眼共同シテハタラカサネバカラズ。即チ人ガ物体ヲ見ル時ハ両眼ノ視線ヲ近ク方ニ向ケ見ヤスイモノ。一致

Convergence 両眼ノ視線ヲ ~~両眼~~ 合会セシメサルヘカラズ。ソノタメ両眼ノ視線ニヨツテ作ラレル角ガ物体ノ遠近ニヨツテ異ナルニ至ル。従ツテソノ角ノ大小ニ伴フ運動成覚ノ差異ガ距リノ知覚ノ基礎トナルカモ。



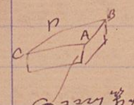
Convergence
視線ヲ合セシメルハタラキ

然しながら距離の知覚に於ける物体の距離がアマリ大なりか小なるかは決して遠距離の場合の映像の大小、光線と陰影との関係、明暗の段々、色彩の変化等によりて強く其の映像の大小の如何に物体の大なりや小なりを知る場合に距離の知覚又は上に述べた力にハタラキなり。

立体

視覚に於ける立体に就きての知覚

平面の知覚とは、前述べし様に立体(solidity)の知覚とは作用の述べた網膜の上の映像は、平面的なるが故に特に立体を知覚する就きての特殊の記号はないなれども、立体の知覚は一方に於ては距離の知覚の別なる場合と考へ得 for 立体的にそれは見へる表面の距離と遠近なる色々の部分とを或いは考へ得るなり故に距離の知覚のみは直に立体の知覚に関係すると見ても差支なし しかしながら特に立体の知覚に関係する特別の記号(sign)はないなれども即ち距離アマリ遠かなる場合に大なる眼に映ずる映像の差違がその sign なるなり 但し此の差違は遠距離にある物体にのみ適用し得ず 従て遠い場合に立体はそれを平面的に見ると比較する事 所謂 Stereoscope(実体鏡)による実験的研究を得。



このA,B,C,D点の差違は距離の差違に基づく即ち立体の知覚はこれらの差違から成立すべし。遠距離の場合に立体の知覚は平面的に成る

遠距離にある場合に光線陰影の配合状態によりて多少の立体の知覚なし得

以上に述べた如く視覚と触覚とによりて別々に空間の知覚を述べた実際にはいずれも一緒に共に協力して又は協合するにて空間の知覚なし得る

然れども自己の周囲にある物体に接する時は一人の方向距離等の換に全く視覚と触覚とに協合せずして互に独立して又は同様の経験をなしたる後に両者の連絡密接なり即ち外物に接して色の如何を見るのみ或いは外物の在る方向を聴音嗅味等の動かずして他物を生ずる空間の感覚と視覚とは完全に連絡して主なる距離方向等十分に知覚なし得るなり。

完全なる人の眼を開アキなる代又は麻酔剤にて視覚なき時は只スベテの平面的に見る様なり

視覚に於ける距離は、空間成立の感覚に関連せられて意味を生ず。視覚のみに空間の知覚はなきなり。

知覚かやう完全に発達したる人は、まづ先視覚によりて外物の距離大小位置等の知覚と触覚方向等の関係の十分なる為に両者視覚はこれに知覚不十分

[illegible] 場合ニ特ニ触覚ヲ用フルノミ。(未ダ見タコトナキモノニ接セル時ナド) 夢スルニ及ンデハ視覚ガ他ノ感覚ノ助ケヲ待ツ事ノ知覚ノ如キニテ最モ有力ナル作用ナリ 然シテ空間ノ知覚ヲスルノミナラズ直チニ視覚其物ニ備ハレルモノニアラザルガ故ニ注意ヲ要ス

音ヲ聞クニ嗅覚スル。キレイ能ク イツレ

シテ視覚ノ像ノアラハレザルハナシ。夢

夢ナドニテハ視覚ノ像ガ最モアラハル。波

長ノ口ルキヲ一度感覚セシモノ、夢ニナリテ怖ロ

シノガ甚ヒ来ル。視覚ノ像ガ主ナリシアラハ

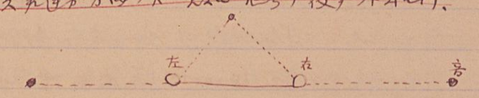
レナリ

明治四十四年十二月十二日。

聽覚ニヨル空間知覚

聽覚ノ空間知覚ハ他ノ不完全ニシテ音ノ方向、位置ノ偏ヲ各人ノ感ジテ知覚スル所ニナレド全ク知覚シ能ハザルニアラズ 殊ニ音ノ強キノ大体ノ場合ニ於テハ左ノ耳ト右ノ耳トニ於テ受ク力ハ異ナルノミニテ其音ノ方向ヲ知覚スル記号(Sign)ノ役ヲツトムルナリ。

方向



左右ノ耳ノ位ノ中央ニ音ガアル時ハ左右ノ耳ニ感ズル音覚ノ強サガ maximum ノ場合ナリ。

故ニ音ノアル場所甚キ時ハ方向ノ知覚不完全ナリ然レドモ大体ノ外ノ方向ノ知覚ノ上ニ記憶セルモノノ音源ガ耳ニ入リ来ル際ニ耳翼ニヨリテ生ズル反響ノタメニ起ル音色及調子ノ変化ハ人間ノ言聲或ハ雑音(noise)ヲ聞ク際ノ全ク同ジ様ニコレハ若シクハアラハレルニシテ、コレガ方向ノ知覚ヲ輔ケル。

耳翼ニ四四種アルハ種々ノ方向ヨリ来ル音ニ対スルノ感ジ様ガ異ナリテ居ル。

距離. 音ノ距離ノ知覚ハ音ノ性質ニシテ平生各人ノ経験ニヨリ比較セル場合ニノミ強カニシテ判断メナスニヨリテ生ズ。従ツテ音ノ性質ガ明カナル場合ニ於テハ距離ヲ知覚スル能ハズ。

視覚 — 化学的
聴覚 — 器械的

時間ノ知覚

精神改象ニ於テハ時間ノ如キ直ノ果ヘテニシテ絶ツテ内容ナキ空虚ナル時間ニ人ノ考ヘ給ハザル処カラ。（時間ハ感覚下ハ感じ得ズ）

時間ノ観念ハ空間ノ観念ハ如ク観覚視覚ガ最モ関係セルモノカラ時間ノ場合ニモ主トシテ聴覚運動感覚関係シテ生ズルモノ也。

運動感覚

運動感覚 — スベテ人ノ身体ノ器官ノ運動ハ律動的ノ傾向ヲ有ス例ヘバ心臓鼓動、呼吸運動ニシテモ器官律動ニシテ一定ノ時間ヲ隔テテ repeat セラレ中ニ、運動ハ一ノ構造上ヨリイフテ振子ノ運動ト同ジ具合ナリオリテ律動的ノ性質アリ故ニ時間知覚上ニハ最モ有力ナル作用ヲ与ヘル。コトサラニ不規則ノ運動ヲナシ得ルモノハ不自然ニシテ自然ニシテハ放任スレバ自ラ規則ヲ守ル運動ヲナス。即チ運動ノ時間ハ均一ナリ

時計ナドニテハ時間ノ知覚ハ視覚ヲ以テ判断等シテ……

世間ノ知覚ニヨリ

聴覚

聴覚 — ノ特性トシテ刺激絶ヘシ後ニモ感覚継続スル故ニ刺激ヲ短ク与ヘル時間ノ知覚ハ即チ刺激若シ律動的ニシテ一定ノ時間ヲ隔テテ repeat セラレ、ソノ場合ニ際シ、時間ノ知覚ヲナスカ聴覚ハ運動感覚共ニ以上ノ外ニ一種特殊ノ感情、感情ハ充実ノ感情トカ伴フガ如キ感情ノ方面ヲ以テ時間ノ知覚ヲナシヤスシ即チ刺激ノナキ気ヲスルトキソノ気ヲ expect シテオル間ニハ expectation ノ一種ノ感情起ル。即チ刺激ノ接近スル至リテソノ感情ハ

感情

satisfaction

刺激ノ強ク与ヘラレタルトキハ一ノ感情ハ充実（満足）ノ情ヲ変ル故ニ視線ヲ以テ運動、或ハ律動ノ音ノ間ノ場合ハ此ノ感情ノ変化ノ具合ニ依リ別ヲシカラシムルニ至リ時間ノ知覚ハ特分トナル。

制限

数ノ如キニ時間ノ観念ハ人ノ意識ニアラハレタル内容ノ関係上ヨリ起ルモノナル故時間ノ観念ハ二ツノ方面ヨリノ制限ナル。ソノ一ハ意識ノ内容ノ多少ニシテ他ハ刺激ニ対スル緊張ノ度ノ多少ニ従ヒ一定ノ時間ノ内ニ起リ来ル意識ノ内容ノ多少ニ従ヒ人ハソノ時間ノ長短ヲ大ニ知覚スルニイタル。

但シ過去ノ方ヲ回想シテソノ時間ノ長短ヲ考フル時ハコレトハ反対ナル（意識ノ内容多ケレバ多キホドソノ時間ノ長カラズト感ズルニ至ル）

意識ノ内容多キニ従ヒ即チ活動スルヲ楽シトスルソノ時間ハ短カク感ズ。何ニモセズニ休息ヲ強ヒラレタリ人ノ待ツテヲルトキハ長ク時間ヲ感ズ。

興味ヲ感ジテヲルヲ一ツノ事ニ注意ヲ集中セルトキハ時間ガ早ク経過スルカヲ経験スル処カラ。

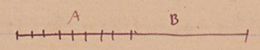
時間ハ主観的ナリ。

知覚ノ錯誤

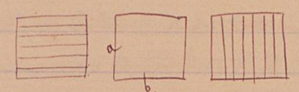
Illusion

normal / abnormal

吾人ガ刺戟ノ点ヨリ知覚センヤウ迫リテ知覚スルアリ之ヲ錯覚（Illusion）トイフ。Illusion ニハ種々ノ種類アリ種々ノ方法ニ分類スベキモ、ココニハ二別シテ Normal（正規的）, abnormal（非正規的）トス。正規的錯覚ハ吾人ノ感官ト吾人ノ精神ノ状態トニ何等ノ異常ナクシテ起ル。ソノ仔細ニ考ヘルト如何ナル人ガ如何ナル時ニ知覚スルカニテモ常ニ変リナク無変ナル絶対正規的ノモノハ之ニ反シ感官、精神状態等ニ異常アル場合ニノミ起ルモノナリ、前者ニハ生理的原因ニ基ク例ハ光弾屈折ノタメニ起ル現象（水中ノ棒ガ折レタ如キモノ）ト心理的原因ニ基ク錯覚ニ分ケ生理的心理的ノ混合ニヨリ起ルモノトイフ

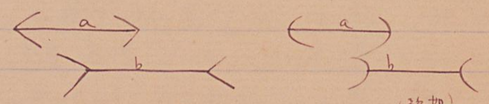


AガBヨリ長ク見エルモノ多シ。即チ縦ノ感覚ガ強サガ大ナルカラデアル也

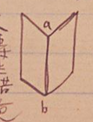


即チ縦ノ線ガ多ケレバ中間ニ挿入サレタ点線ノ多ケレバ比較的大ニ感ジル

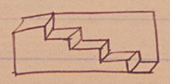
正方形ニテハ縦ノ方ガ横ヨリ長ク見エル。コレ（即チ）縦感覚ノ多ク要スルニ



反転性錯覚



ab ハ凸凹イヅレニモ見ルカ如ク見エル。（従ッテ）注意ノ異ニヨル。



見ヨウトスル梯子ノ裏面ガ見エテクル。

abnormal

Abnormal illusion — 感覚ニ異常アルモノ先ヅ、精神ノ精神状態 i.e. 疲労 睡眠不足 恐怖 死亡 考ヘ、表象等ノ多ク起ルモノニシテ 特ニ例多シ（虎ヲ蛇 縄ヲ蛇）

疲労ノ時ハ眼ノ accommodation ノ力ニハタラカズ、カカル時ハ物体ノ大キサ不正確トナル。一大入歯、口口前。又色モ異ナリテ見エルアリ。室内ノ色ヲ赤ト感ズ網膜ノ localization ノ異常ニヨリ疲労セル時ハ赤ノ色ヲ感ズル部分ニハタラク力

錯覚ハ主トシテ視覚ニ多クアラハルルモ又聴覚、触覚、嗅覚、味覚等ニモ存ス

有様感覚ニモ錯覚起ル。ヒステリーノ女ナドハ何カノ病気ニヨリテ腹ヲ膨ラシ仲ハ妊娠セルカ如キ姿ヲ表シ表面ノ所部ノ増大セルアリ

頭ガシビレテ淋次ニ膨張シ或ハ縮小スト錯覚

又ハ人間ガ化スルト錯覚セルアリ

精神ガ昂奮シ安静ニアル

apperception（or. assimilation）ノ使ヒ方ハ之ニヨリテ abnormal illusion ニ

Illusion
- physical（物理的）
- Bychophysiological
  - geometrical（図形的）
  - assimilative（assimilation ノ異常）

Lallucination

錯覚ハ何等カノ刺戟アリテ誤リタル知覚ヲスル時ナレドモ何等刺戟ノ実在セザルニ拘ハラズ実在セルガ如ク感ズル幻覚(hallucination)トハ幻覚ハ錯覚ト同ジク視覚聴覚ニ生ズルモノ最モ多クレド他ノ感覚ニモ起ル精神病者等ニ最モ多ク幻覚ヲ引キ起スモノナレドモ普通ノ人ニテモ肉体ノ疲労シタル場合又ハ熱病ニカカレル時 trance(夢幻)ノ状態ニアル場合 特別ノ薬品(opium 鴉片 Ga)ヲ飲ミタル場合感情激昂セル場合ニ於テモ起ルモノナリ

殊人、宗教家等ハ幻覚多シ

幻覚ノ内容ハ異常ナル程複雑ナル所モアレド特ニ精神病者等ニテハ最モ自己ノ身体ニ何等カノ異常ノ如キ錯覚トシテ表ハレ来ルコトガ意識ノ混乱ニ従ヒテ幻覚的ノモノトナリ終ニハ妄想ニ加ハリ何等ノ刺戟ナクシテ幻覚ヲ純粋ニ感ズルニ至ル

触覚ノ幻覚 — 名ハサキニ何カアリト幻覚シテ発狂ガ予ナラレル

lautes Denken — 前ノ考ヘル処ノコトガ聞コエルヤウ

幻覚と錯覚

幻覚ト錯覚トハ以上ノ如ク判然区別セラレタルモノナレドモ之ハ単ニ理論上ノ区別ニシテ前ニアリシ如ク精神病者ノ幻覚ハ初メハ錯覚ニ過ギザリシモノガ意識ノ混乱ニ従ヒテ幻覚ニ移ルモノ多シ 何等ノ刺戟ナシニ幻覚ヲ起スモノニ比シテ錯覚ハ刺戟ノ存在セルヲ条件トシ故ニ根本的ニ錯覚ハ幻覚ト区別アルモノト考フルヲ得ズ(幻覚ハ錯覚

一般ニ知ラレタルモノナリ)

夢

夢

睡眠中ニ見ル夢ハ複雑ナル内容ヲ有シ特殊ノ状態ニ於テハ錯覚ハ勿論幻覚ニ基ク夢ヲ生ズルコトアリ 睡眠中ハ表象ハ少ナク完全ニ発現セザルガ如シ 睡眠中ハ不完全ナル apperception assimilation ノ為メニ統覚及ビ同化ノ作用ト不完全ニシテ感覚ノ経験ト連絡ヲツケルコトヲ得ザルガ故ニ錯覚又ハ幻覚ヲ引キ起ス 換言スレバ睡眠中ハ作用ヲナサザルモノノ如キ休息セルガ如シ アルコトヲ以テ 夢ハ感覚ノミ ノ如キ刺戟ヲ与ヘラレルモ身体内部ニテ来ル刺戟ハ不活発ナルガ故ニ アヤマリニ基ク基礎トナリテ色々ノ内容ノ夢ガ出来テクルナリ

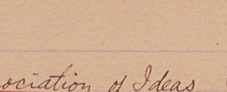
寒気ヲ感ズルガ故ニ 自然ヘテモ行ハレルガ故ニ夢モ

コレ一般ノ知覚ノアヤマリニテ コレニ一時ヲ以テ色々ノ事柄ガ続ビツク

聯想

定義 Association of Ideas（聯想）

甲觀念ガ意識ノ中心ニアリシ時ニ中ニ以前ニ於テ関係ヲ有セシ乙観念ガ意識ニアラハレ出ニ代リテ意識ノ中心ヲ占メル生リシ時 甲ガ乙ヲ聯想セリトイフ



性質 聯想ハ一ハ全過程ナリ迅速ナル場合アリ又比較的緩慢ナル場合アリ例ヘハ旅人ノ無知ナル幼稚ノ映像ノ大小ヲ距離遠近ヲ知覚スル場合 或ハ文字ヲ見テソレニ表セル物ノ形ヲ思ヒ起ス場合ハ観念ノ聯合 既ニ聯想的ニテ旅人ノ聯想ハ以テ一ツヤツ何等ノ自覚ナキ了ルシ又ハ古教場ヲ過ギテ各物ヲ回想スル時ハ観念連合ノ徒過優慢ナルヲ以テ一観念ガ他観念ヲ呼ビ起コセシム意識ス 後者ハ意識的聯想 聯想ト稱スル場合ナリ 観念連合ハ一定ノ法則ニ従ヒテ行ハレ之ニヨリテ秩序全ク無キコトハアラズ聯想ノ最ト密接ニ行ハレル時ハ例ヘハ旅人ガ空想ヲ映リテ定リ無キコトヲ考フルカ如キコトナキ場合ナリ特別ノ目的ヲ以テ思考スル場合ニハ意志ノ作用(意志的)ヲ以テ観念ノ連合ヲ人ノハタラキ中ニテハ大切ナルニシテ古来学者ノ研究シ処ナリ Aristotle ノ如キハ既ニ連想ニツイテハ詳シク論明ヲ立テタリ世ニ於テ英国ニ於テ一時ハ隆盛ナリシ連想派(ミル、ベイン等)ノ如キハ連想ヲ以テスベテノ心ノハタラキヲ説明セントセリ 連想ニツイテハ古来下記ノ法則ヲ立ツルコト普通ナリ

聯想の法則

第一. Law of Similarity（類似律）— 先類似セル二観念ハ互ニ連想サレヤスシ 例ヘハ空気ヨリ実際ノ人物ヲ思ヒ起スハ比較的容易ニ行ハレルコトヲ知ル 聯想ヲ類似聯想トイフ

第二. Law of Contrast（反対律）— 互反対セル観念ハ互ニ聯想サレヤスシ 例ヘハ白ト黒ト 昼ト夜ト 光明ト暗黒ト 死ト生ト 空虚 等ノ場合ニ於テ然リ

第三. Law of Contiguity（接近律）— コレハ二ツノ観念ガ空間上ニ行ハル接近律ト時間上ニ行ハル接近律トヤリ後者ハ同時ニ其ノ二ツノ連続シテ起ル場合ニ聯想サレヤスキ事イフ. 空間ノ接近律ハ同ジ個所ニテ隣リ合ヒ(経験セル)場合ニ聯想サレヤスシトイフ意味ナリ.

Contiguity
- temporal
  - a. coexistence
  - b. Succession
- Spatial

空間上ニ云ヒテ同場所ニアリシトイフコト. 時間上ニ云ヒテ同時ニアリシトイフコトハ同様ナリ. 即チ Spatial ト Coexistence トハ同ジコトナリ. 故ニ Contiguity ハ時間上ノ接近ニシテ Spatial ハ Coexistence ノ中ニ含マレルモノト得.

然ルニコノ三又ハ四ノ法則ハ以テ反対連合ニツキテ考フル時ハ第三ノ接近聯想ノ一般ト見ル事ハ出来ルシ又ハ類似ノモノハ常ニ同時ニ連続セラルル処ニテ多ク二観念ニ於テハ反対ノ連合ヲ前記ノ法則ニ陽ル時ハ類似律ト接近律トノ二法則ヲ得

Contrast ハ 同時ニ 若ハ継続的ニ 反対スル 概念同ジ 例ヘバ紙上ノ文字ハ白ト黒トノ contrast ヲ示スガ如シ. 強ク文字上ニテハ大小, 賢愚等又多ク強ク描出セラルル事ナリ.

然ルニ ナホ 強弱ノ差別ニツイテモシラブルガ描出スル類似ノ差別ニ之リ類合連合ノ強弱トイフコトヲソノ特質ナリトスルト考フル方面モ亦類合連合ノ外形的ノ単純ト富スル下ノ一ノ強弱ニ帰シ得ル理由ニ於テ表面ニ強ク現ハレ成分類合等ハ常ニ同時ニ高潮ヲ現ハセトスルノ傾向ヲ有セリ. 故ニ音色ノ強弱ニツキテハ描出作品ニヨル類合連合ノ発展ヲ考ヘシ. 類似又ハ律ハソノ一般ト為ナシ得ルヘキ血液ノ赤イコトヲ思ヘバ赤色ノ類似ヲ基礎トシテ連合サレタモノナリ. 然シ赤イコトヲ血液ト赤色ノ上ニ於ケル過去ニ於テ既ニ一般ノ関係成立シ, コノ関係媒介トナリテ両者ヲ結ブツルコトナリ.

然ルニ血ト赤イコトトハ赤色トイフ点ニテ関係ヲ有シ同ジ類合ニ入ルベキ傾向アリ

カヤウニ聯想ノ原理ヲ用イテ類似ヲ描出セシ一ノ為ニスルコトナレバ実際ニハ便宜ニヨリテハ類似描出ト一部ニスルコトヲ又場合ニヨリテハ特殊ニ分類スル要アリ. 而シテ如何ナル範疇ノ聯想ガ主トナリテハタラクカトイフコトハ人ニヨリテ多ク特色アリテ見ルベシ.

理窟ヲ考ヘル知ノ方ノ人ハ主トシテ描出聯合ガハタラク — 推理, 因果律

感情ヲ主トスル情的ノ人ハ類似連合ヲ主トス (比喩, シャレ等)

ふとん着て寝れる姿や東山

他ノ人ノ見ナレバ此ニモ similarity ヲ見ル. コレ詩人, 文学者ノ異ル点ニ外ナラズ.

聯想ノ作用上聯合ノ発展ヲ分類スレバ左ノ如キ例ヲ示シ得ル.

Similarity { quality / meaning / sound
meaning { Coordination — I. / Subordination — II. / Superordination — III. / contrast

Contiguity { time { verbal (言語上) 但シ分合ハ人ニ依ル / causal (因果律ノ Dey)
space

I. Coordination 同等級上ノ概念. 欧, 亜, 米, ト連合ス

II. Subordination 隷属上ノ概念. 日本人ヨリ亜細亜人 / アジア人ヨリ日本人

III. Superordination. 日本人ヨリ アジア人, アジア人ヨリ人類

人 { 欧人 / 米人 / 亜細亜人 — / 日本人 / 支那人 { 家族 / 家庭 —

特殊の場合に於ける聯想

以上ノ類合聯合ノ単純ナモノトシ, ナホカアル特別ノ類合ニ属スル類合ガ連合サルルトキハ場合ニヨリテ一定セル結果ヲ生ズル法則ガ認メラルル. 特別ノ場合, 特殊ノ聯合聯合ノ性質ヲ定メ得ル特殊ノ場合, 特殊ノ聯合, 聯合特殊ノ聯合ナル特殊ノ特別性ノ特殊ノ性質ニ基ヅキテ分類セラルル. 聯合ノ特殊ノ特別性ノ特殊ノ性質ニ基ヅキテ分類セラルル性質ノ性質トハ二ナリ. 一体類合ノ連合ト行フコトハ単ニ偶然ノ性質ニ於テ部分的ノ客観ニ基ヅキテ之ヲ甲類合ト乙類合ノ連合スル場合ニハ甲類合ニ属セル性質ノ性質ノ乙ニ属スル性質ノ性質ニ特ニ一時ノ際, 聯想ノ法則ノ適用ガ比較的ニ容易ナルコトガ基礎トナリ. 今回ソノ実験ヲ説明スベシ

甲—乙.

甲と乙を連合する心理的の法則は次の如きものなりと考察する. 甲は観念の発生の場合, 部分感覚的動機へて乙の観念を起さる場合, 部分の感覚を以て全体を表象する時の場合, 甲の感覚が変化する時, 乙の感覚が甲の変化に応じて変化する時の場合, 甲の感覚が乙の感覚を伴なう時の場合, 甲の感覚が乙の感覚を伴なう時の場合, 甲の感覚が乙の感覚を伴なう時の場合, 甲の感覚が乙の感覚を伴なう時の場合

1. Habit (Repetition)

2. Recency

3. Vividness

4 emotional Congruity (一致)

連想の条件

方向に関する

1. 習慣(反復)の法則 2. 新近性の法則 3. 鮮明性の法則 4. 情緒的一致の法則

観念連合と関係

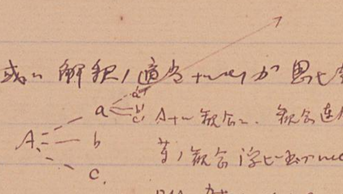
秋風や白木の弓に鈴はる人

秋風と白木と stimmung があひかる也. 故に研究しやすし

思考と研想

以上述べる如き観念連合の法則は, 特殊な場合に於ては, passive に行はる場合に最も明瞭に行はる. 即ち一定の目的なき空想の場合に於ては, 思考の場合, 即ち意識的に人為的に目的に従ひ中心点を定めて関係を観念に選擇し, その目的にそむかぬ者をのみ思考するが故に, 思考の場合に於ては, 連想の法則は世俗もしばしば思はれるが如く, 思考に於ては, 連想の法則は補助的なるに過ぎず, 思考の場合, 連想の法則は, 能動的に, 意識的に, 目的に, 観念を選擇する作用なり. 故に, 思考する場合, 連想の法則は, 補助

手段或い解釈ノ適当ナルモノガ思ヒ記サルルノ様ナ事ハ也



A ナル観念ニ、観念連合ノ法則ニヨリ a, b, c 等ノ観念浮ビ来ル ノハ denken ノ目的ニカナヘルモノ a ノミノ様デ a ノ中ヨリ又 a' ノ様ナ etc. カノミノ目的ニカナヘル連想ノ様

記憶. 想像

記憶の定義

再現と再認

記憶 Gedächtnis (回想 言語ハ名ナシ) Erinnering 研究的ノ意味ニ使用

記憶トハ或ル人ガ知覚シ得タル観念ガ再ビ意識ニ現ハレ来ル ノヲ言フ也 然レドモ観念ガ思ヒ記サルルニ二種 所謂(再現) Reproduction ニ過ギズシテ夢中アラハレ来ル様ナ観念或ハ純粋表像ノ上ニアラハレ来ル観念ハ過去経験セル観念ガ手軽ニ止ル再ビ現レタルニシテ記憶ノ名ヲ与ヘ難シ 観念再現セラレ且ツ之ニ人ガ前ニ経験セルコトアリテ意識ヲ伴フ場合即 Recognition (再認), 伴ハザル場合ニ限リテ記憶ト云フコトニナル。

再認の特徴 1. 順應

再認ハ第一ノ前ニ経験セルコトアル観念ガ其ニソノ動機ニ対シテ一定ノ順応的ノ態度ヲトラシメル例ヘバ赤子ガ自己ノ母ヲ認ムルニツキテ他人ノ顔ガ母ガ子ヲ膝上ニ抱クノ様ナ視覚 聴覚 嗅覚等ガ表象ニシテ意識ニアラハル母ガソノ子ニ乳ヲ飲マセル。子ハ快感ヲ感ジ又同時ニ乳ヲハミ出サレタル又同様ニ乳ヲハミ出サレタル

ソノ状況ガ再ビ経験セラルルヤ子ノ思想ハ次第ニ秩序的ニ母ガ自己ヲ抱キ上ケテ乳ヲ与ヘタル事ヲ思ヒ出サレントスル傾向ヲ示シ其後ニ於ケル母ノ顔ガ見ヘタル刺激ニ対シ一定ノ思想ヲ起サシメタル刺激ニ対シ一定ノ反応的思想的順応ノ先駆ガ Recognition ノ本ニシテ為サルルモノナリ

2. 再認

第二ニ再現セラレタル観念ハ他ノ研究ガマダ再認ニ大ニ関係ス 強ク過去ニ於ケル経験ノ時ト或ハ場所ノ研究ガ観念ハ一度再現ノ言葉ハ此時ト同ジ場ニ経験スル時事物ノ比較ニ於テ再認ガ明カニ出来ル筈ナレドモ既ニ同ジ見慣レタル物ト研究セラルルニ人ノ何等再認ノ意識ヲ伴ハザルコトアリ

3 feeling of familiality

第三ニ然レドモ特別ノ順応的思想ヲ起サレタル場合ニ又既ニ経験セル事ガ再ビ何ヒカ前ニ経験セル意識ノ起ルコトアリ例ヘバ過ニ人ニ会ヒ何カ前ニ見タコトノアル感アルコトアリ カカル場合ニハ唯 feeling of familiality アラハルルノミナリカカルコトハ最初ニ経験スル時決シテ起ラズ故ニ新ニ生ジタル感ガマタ Recognition ヲ生ズル習慣トシテ起ルモノナリ

記憶の種類

記憶ノ人ヲ見テ誰ノ顔ヲ経験セル観念ガ再ビ意識ニ現ハレ来ルモノ故記憶ノ人ヲ見テ伸ビ出ル第一ニ前ニ経験セル感ガ保存セラレタル(Retention 把持) 第二ニソノ把持セラレタル観念ガ再現(Reproduction)サルルノ人ガ発見サレタルナリ。カカル作用ヲ総テ

見れば分かる生理的基礎、学問的説明がある。（故に各細胞の一つ一つに跡を残すものと考へられる。）

把持、再現の由来

神経系統の習慣が基礎。観念の把持も神経の神経の興奮が定の方向を辿って移行する痕跡の存在する事に再現の一の方向に辿って神経が興奮する傾向に過ぎない。

把持—生理的
再現—生理的
見出—心理的

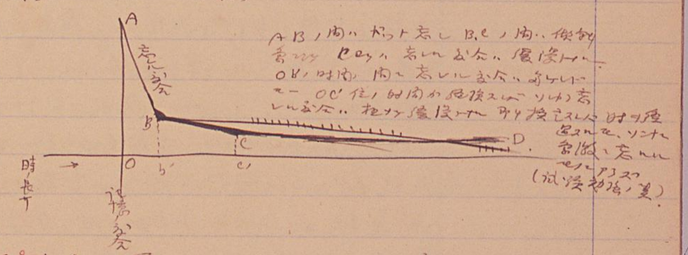
過去の経験の成果が再現

皮質表面の localization アル。特殊の観念 localization アル。（一の観念）特殊の部位の神経が興奮中心となって興奮すると考へて支人の顔と名前とを同時に覚えられる。同時に経験した顔と名前との観念連合を生ずる。故に顔を見ると他の連想を起すことが名前との連絡とが興奮する。故に顔を見て名前を思ひ出す。即ち創造的とは顔と名前との連絡を思ひ出す。換言すれば顔を見て名前を思ひ出すこと。他方にこれ Retention 記憶、ソノ人ガ再ビ思ヒ出セルこと Reproduction 再生。（生理的説明ヲ不十分。痕跡（印象）ニヨル説明セルトスれば、モヤ）

即ち其の再現的に観念が過去に強く強験したりすればすると再現されつつある時は場所と観念が所謂 Recency を起こすこと。記憶の条件、最要の条件は最近の所謂 Recency 条件と同じである。即ち第一！一般に刺激の繰返しにより再現されやすい。経験に再現の際に時間が経

記憶の条件

山を辿って再現用紙トイフコトハ（刺激ノ再現ト）ソノ観念ノ数スルコトハ時間ノ長短ニ比例スル実験的研究。強調スルコトハ再現ノ用紙ハ最初即チ新しい観念ノ刺激ヲ与ヘタル後比較的ニ短イ時間ノ経過ヒハ著しく時間ノ経ニ従ヒソノ観念減少ス故



AB ノ間ハ新シイ観念 BC ノ間ハ保持ス CD ノ間ハ新しい観念ノ刺激ヲ与ヘタル後ノ時間ノ間ニ新しい観念ノ減少ヒ — OC' 位ノ間ハ経験スレバ ソレハ新しい観念ノ刺激ヲ与ヘタル時ノ理解スルモ、ソノ観念ノ新しいモノニアラズ（減少ノ経験ノ為）

2. Repetition 和. 刺激ノ反復セラレル回数ノ多キ程ヒモ記憶サル

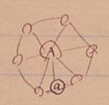
3. vividness 強. 注意ノ強弱ガ記憶ニ関係。強ク感情又ハ興味ヲ伴フガ

4. 再生ノ性質 ソノ記憶ノ種ノ相. 記憶セラレル観念ノ他観念ノ所有ノ性質ニ関スル即チ研究観念豊富ニ思ヒソノ多ク結合密接ナル中ソノ観念ノ記憶堅牢ナル。ソノ器械的ニ記憶セル観念ノ忘レヤスキ。所有ノ loose ナルガ故ナリ事物ノ意味ヲモノ理解シテ本因結果ノ関係ヲ考ヘテ記憶セルヲ相ニ容易ニ忘レナイ。即チ所有ガ基礎トナル。

記憶ノ条件ハ前述ノ如シ。記憶力ノ優劣ノ原因ハ同様ニソノ条件ニ基ク。即チ観念ノ把持ガ前述ノ如ク絶対ニ生理的ノモノナルガ記憶ノ最要ノ人ガ先天的ニ持チ合ハセ神経組織ノ性質ニヨリテ異ナルガ

記憶力増進法

即チ又練習ニヨリ記憶ノ力ヲ増スヿ能ハザルニアラズ又
タトヘ増スヿハ得ザルトモソノ減退ヲ防ギ得ルヿハ少クトモ
今ノ方法ヲ生理的ノ方法ト心理的方法トニ分ツ内ニ生理
的方法トシテハ身体ノ健康ヲ計リ強ク神経系ノ発生ヲ
害シ事業ニ帰ス 心理的方法ハ色々アレド最モ重
要ナル点ノ記憶ノ条件ヲ説明スルニ帰ス即チ第一ニハ刺激ヲ
反覆スルヿ. 第二ハ注意ヲ周徹注スルヿ 第三ハ観念ヲ秩
序ダテ組スルヿナリ. 第一第二ハ説明イラナカラン 第三ノ秩序ノ
ツマリ一方ニハ研究スベキ観念ノ出来ル限リ豊富ニシ又他
方ニ於テハ之ラノ関係ノ統合ヲ密接ニスルヿデアリ故ニ例
ヘバ記憶セントスルヿ相互ニ孤立ノ方面ヲ観
察スルニ第一ノ方法ナリ書間乱ガ得意ノヿ相ニ我ラハ
甚タ記憶力強キハ単ニソノ人ノ有セル知識ノ系統
ガアル特殊ノヿニ関シテハ極メテ秩序的ニシテ整然タル
system ヲ形成セルニ外ニ入リ込ム関係ガソノ系統ノ
ソノ内ニ特殊的ノ
ソノ中ニ一定ノ観念ニヨリソノ把持ノ助ケラレルヿ
ニアルヿ主ナル原因ナリ



但独リ記憶ニアル特別ノヿ外ニ memory ヲ持ツモノ
アリ、 謝明の子供一昼日ニ関シテ。
研究ニ関シテ注意ハ如何ニ。 如ク記憶セントセバ相ニ関聯シ
観念ノ関係ニ活用シテ甚ダ記憶シ易シ即チ記憶セントセバ
文章ニアラズ又ハ何等カ芸術的創作又ハ詩歌ニアラズ
ノヿ一方ニハ研究ノ豊富ニシテ共ニ且ツ密接成

記憶ニ関する異現象

ノ助ケニヨリテ記憶ヲ帯ビルモノ 所謂記憶法ト称シテ
ヨ行ハルルモノニツマリ研究ヲ利用シテ過セズソノ
方法ヲ用ヒテ最適ナリトスルモ実際ノ効果ナシ.
記憶ノ abnormal ナルニ従ヒ色々ノ現象ヲ
ソノ内ニ主ナルモノ三アリ
1. Hypermnesie. (Over memory 覚エスギル方
2. Amnesie. 健忘.
3. Paramnesie. 錯リタル記憶

Hypermnesie アル精神病ノ患者ハ極メテ些細ナルヿマデ記憶シテ忘レザル
ヿ忘レタル記憶ノ更ニ甦ルヿアル 此ノ場合ノ忘却ノ原因
記憶ノ助ケニ新シク必要ナキヿトナレバ忘ルベキ刺激
ヲ忘レズ記憶スルノ知的作用ヲ鈍ラセル
(昨夜ノヿヲ思ヒ出ハスヿ、昨夜ノコトヲソノ夜ニ生ルモノ
様ニ思ヒ出ス. 故ニ此ノ作用ハ時間ノ需ニ知的作用ヲ弱ク

Amnesie 2. Amnesie ハ身体衰弱ノ場合又ハ此等ノ神経
病ニカヽリタル場合ニ起リ通常ハ発熱ノ上ニ忘レ
現状然ニアリシモノガ突然後ノ間ノ経験ヲ少シモ記
憶セザルヿ、又 Aphasie (失語病) ニ一般ノ

Paramnesie Amnesie ナリ. 3 Paramnesie ハ自分ノ経
験ニ関シテノミ一定ノ場合ニ於テ経験セルヿヲ感ス
ツマリ feeling of familiarity ガスベテノモノニ
附随スルニ至ル
他人ノ生ノ学取ル事ヲ自分ノ特別ノヿガ如キ感ス

記憶の強弱

生理的ニ神経ノ記憶力ニ変化ヲ来スモノニ次ノ如シ

黄色ノ人ニモ多クカカル感ニアリ

記憶ノ強弱ハ年齢ニ伴フモノ。幼年時ニ於テ最モ強ク壮年ニ至ルニ従ヒ衰ヘ来ル。ソノ事柄ハ一般ニ具体的ノ観念ヲ忘レヤスクナリ、ソノ反面ニ抽象的ノ観念ヲ忘レ難クナル。コレハ抽象的概念ノ方具体的ノモノニ比シテ関係ノ処ガ多キコト、特殊ナル観念ヲ多キ故ニ再現ノ機会多キニ基因スル。之ニ反シテ固有名詞ガマヅ忘却セラレ、前置詞ガ最ク接続詞ガ最ク忘レラル。

或人ハ忘却トイフヨリモ、忘レタルトイフモ比較的ニシテ、訳ノ分ラヌ様ナ想像ヲ生ジテ、ナリトイフ説アリ。自動的ニ 穿鑿セラルル

automatic writing

想像

日常事像トハ現実ト縁ノ遠キ空想的ノモノ或ハ poetical ナルモノニハ必ズシモカカル範疇ニ限ラレザル事アリ。又特殊ニシテ事像トハ外界ニ実物ヲ有セザルモノ、即チ物ヲ思浮ベル人ヲシテ語ラスコトヲシテ、次ハ観念ヲ心ノ中ニ思ヒ浮ベルニシテ、過ニ事像ニ入ルモノ。

定義

事像トハ事ニ過去ニ得タル種々ノ観念ノ再現ニ基ク。即チ観念ノ部分ヲ以テ一つノ全ノ像ヲ作ルモノナリ。故ニ再現トイフ点ニ於テハ記憶ト共通ナレドモ記憶ノ時ハ過去ノ経験ヲソノマヽ再現シ、ソノ時

記憶と想像との違

事像ハ過去ノ経験ヲ自ラ新ニ分析ト綜合ヲ加ヘテ再現シ、ソノ時ハ過去ノ経験ヲ受ケテ

記憶 passive
事像 active

想像のprocess
1 再現
2 分析
3 綜合

又事ノ現象ニ一種ノ familiarity ノ感ニカカル場合ニハカカル感ヲ生ズ strangeness ノ感ニカカル場合ニハ記憶ト事像トノ区別ハ明カニ感ジ難キモノアリ。即チ記憶ハ事像ノ下位ニ立ツモノ。

事像ノ生ズル過程ニハ、第一ニ再現シテ過去ノ観念ヲ事像ニ比シ、第二ニ分析シテ再現サレタル観念ヲ一ツノ要素ニ分析シ、第三ニ綜合シテ分析セラレタル要素ヲ一定ノ規矩ニ従ヒテ結合スルモノナリ。コノ三種ノ過程ニヨリ事像ノ内容ハ完全ニ事像ノ形式ト内容トニ別チテ考フレバ内容（材料）ハ過去ノ経験ノ保存其儘ナレドモ事像ノ本質トシテ考フベキハコレラノ材料ヲ綜合シテ一定ノ形式ニ構成スルノミナリ。

過去ノ経験ヲ以テ事像ニアラズ。之ニ材料ヲ綜合スル中ニ novelty ノ要素ガ加フルニ至ル程度ニマデ事像ノ大ナルカカル

active imagination

コノ三種ノ過程ハ時ニ事像ニ於ケル場合ト然ラザル場合トアリ。例ヘバ小説ヲ作ルニシテ、ソノ結構ヲ考ヘ、或ハ実際ノ fact ニ照シテ補ハレタル以上述ベタル過程ハ時ニ事像ニシテ、工業上ノ創作或ハ科学上ノ発見等ニ於テハ、コノ純然ノ事像ニシテ、カカル特殊ノ事像ヲ active (creative) imagination トイフ

passive imagination

也に又以上の要約に近き状態にて他人の完成品を
学出し此れを以て仕事を行ふ場合に之れ他人
の成績を学ぶ為めの表象に之れ passive
imagination にして子供の表象中の多くは之れ
他類にして所謂 day dream, Revelry 等
の他者なり 或は詩人が inspiration と称するも
亦可なり 詩歌作家は之れ他の表象に属するも
之れ表象の的イジセの方に比較的多くの個人
的多少の天性あり 之れ天性が文学上の作品中に
著しくあらはし来る

active imagination — artificial なるが如くに
の印象に不解なれば.

Passive imagination — 子供等の所謂表象中人
物なれば. — lyrical, romantic

想像の人生に対する科学上の価値

表象は人生に於ける偉大なる作用なり多くの人の文学芸術等の
方面に只分の如きに止まれども科学研究には必要なる
部分なり 例象的なるものなれども然れども後者は
表象と空想とを同一視せんとする者と現実と像
とを区別する者とあり 表象なりとも亦然り 然れども科学
研究上には此の表象は有力なる作用なり 例へば
既知の事実の未知なるものを推論する一般の表
象なり又科学に於ける仮説と新しき或は未発見の
事実を説明の便宜上 假設 (hypothesis) を

立つる表象の如きものが能く新しき発明を
[又は仮定] 為す 想象の如き主観的経験的事実にこれ
能く多く表象の力に依つて為しこれを如果 哲学
者科学者等有名なる人が一方に於ける的創刻的力
を少くしかも其の又表象的の力大なりし事実にこれを
証明するなり これは表象が如何に実用上の為
めに役するかを人が実際世界に於ける地者
即ち逆境に於ける効力多くして キレイなる表
象が空想に映ずる主観的実際の作用を
範囲とする表象の力を意味するは極めて必要にして人々
にとりては天賦の美徳 又修習によりて表象の
力を発達する事は不可能にあらず

記憶表象に於ける個人的美徳

記憶表像に於ける個人的美徳. 記憶表像とは再現力
に就きて秀れたる人にして一度なる物の平生の事物
を能く記憶し 此れを思出し又表象の一部分を
人の記憶の像にして思浮べ又は記憶
の像は人により多少差違あり或人は色彩まで明
瞭に思浮べる人あり 或は色はおぼろげなれども形容
は明瞭に思浮べる人あり 而して又此の記憶の像は
外に感覚感能等が関係し故に多くの感覚を
用ひる人は像更に強く来たり概して漠然たるもの 然して
盲人抔に至りては記憶の像は甚だ不鮮明なる記憶

紀念の用既に完全なる明瞭なる表象に在り

運動感覚が観念の思惟上に最も有力に働くものは
盲人に多いが人一般にも聴覚の像形成に於て有力な
働きをなす(音楽家) 殊に又運動感覚 視覚とが協同して
聴覚の像の代りをなす

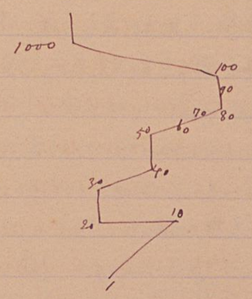
25年06. 1 勤学の頃 言語状態の由来について 或人は
コノ式ヨリ運動ヲナシテ初メ ホムに似た人、或人は マタコノ数
字が視覚の像トナリテ浮ブ人

Type

カクの如く記憶表象に関しての人の性質に種々の差違あるコトを
記憶表象の個人的の型式又は典型(Type)トイフコノ個人
的に種々のTypeの発達アルコトの研究セラレタニ於ては
最初に Galton (1880)氏ニ依テ心ノ内容ノ多キカ人々ニヨリテ
異ナルコトヲ発見セリ 概シテ人ハ抽象的ニ物ヲ考ヘルコトハ容易デ
ナイ人ハ視覚的像ヲ以テ或ハ文字等ニ依ラズ人ハ比較
的鮮明ナル像ヲ有ス。然シテ近時ノ研究ニヨレバコノ点
ニ関キテモ種々ノ例外アリ又観念、物質ニ対スルコトモ一定
セズ 撰ラ視覚的像ニシテ強ク人ヲ Visual Type ノ人
トイヒ聴覚的像ノ主ナル人ヲ Orditory type ノ人トイヒ
運動感覚的像ノ強キ人ヲ Motory type ノ人トイフ(高人
型像表)。然シテ実際ニ於テハ多クハ此ノ type
ヲ分ケ得ルカ如キ著シキ特色ヲ示サズ多クハ大抵ノ種類
ノ像ガ混合シテハタラク通常ノ記憶的像表ニ働
キツツ。

色聽

以上ノ如キ一般的特色ノ外個人個人ニツイテ特別ノ
観念ノ関係ノ異人独特ノ色ヲ与ヘルコトアリ例ヘバ或ル
人ハスベテノ音ニ特別ノ色彩ヲ聴取シ例ヘバ高イ調子ノ
音ハスベテ黄色ヲ帯ビ低調子ノ音ハ黒色ヲ帯ブカ又
甚シキハ実際ニ一定ノ音ニ一定ノ色ヲ眼ニ見ルコトアリ。
コレヲ Color audition (色聴)トイフ。(色ノ方ノ音ヲ
聴クNeppy) 或ハ特別ノ観念ニ対シテ色ノ聴覚起ル(水曜日
ハ窓掛ケノアル Window ヲ聴覚又月曜日ハ △ ノ形ヲ聴覚ス
獣的意味ハ黄色、歴史的意味ハ黄褐色、夏人的ノ意味ハ黒色ニ聴覚サレル
ト例ヘバ。)
アル人ハ数ヲ考ヘル時ニ一定ノ空間的ノ位置ヲ取ル
ルコトガ多イト考フ
数ニ対シテソレゾレノ色ノ聴覚ヲ伴フ人アリ。



思考と直観

思考作用 Thought Process.

思考作用トハ、人ハ孤立特別ノ机ヲ考フルカ或ハ親友ノフリ考フルガ如ク記憶観念ヲ呼ビ起シ或ハ器官ハ同ジ意味ニテツタヘ考フルトイフアルイハ、他物ハ思考ノ作用ナリ。例ヘバ、一ノ観念アリ之ヲ眼ニテ見ル時ハ一ノ映像ハ網膜ノ上ニ出来テ形状色彩ヲ別ニ作ル。然ルトキ人ハ観念ヲ一ツノ観念或ハ表象 (Idea or Vorstellung)

Idea — 特ニ記憶観念ニ用フルアリ又時トシテハ知覚ニ用フルアリ

Vorstellung. 外ニ出シ置クコト

ヲ得。然ルトキ観念又ハ表象ハ思考ノ作用ニアラズ。人ハ一ツノ観念又ハ表象ニ就キテ更ニ反省ノ作用ヲ加ヘ観念ハ文字ヲカラズ役ハル。例ヘバ分析比較抽象、綜合等ノ作用ヲ加ヘル場合ニ始メテ思考トイフ。ナレ共反省ノ作用ヲ伴ハズニ表象或ハ観念ノ意味ニ思ヒ浮ベルトキハ之ヲ思考ト対シテ直観 (Intuition; Anschauung) ノ作用トイフ故ニ記憶表像知覚等ノ作用ハ反省ヲ伴ハザル限リハ之ハ直観ノ作用ニ属ス

Thinking — Intuition

Denken — Anschauung.

△厳密ニハ記憶表象等ハ denken ノ作用ハ勿論知識トハ Apperception ニシテ過去ノ経験ト現在ノ経験トヲ連絡セルモノナリ。単ニ知覚トハ異リテ敏活 reflection ノ作用ヲ伴ヒタルモノハ思考ヲ含ムモノト云ヒ得。

△直観ノ場合ハ眞偽ハ別ナシ。故ニ論理学ハ思考ノ

ミニ拘ハリ直観ハ関係ナシ

思考作用の分類

思考ノ作用ヲ役目ノ如ク三部ニ概念 (Conception; Begriff). 判断 (Judicium; Urtheil). 推理 (Inference) ニ分ツ。

概念の定義

記憶表像知覚等ハ多クハ単ニ特別ノ個体ニ関係シテヲリ或ハ特別ノ机ヲ標象シ又ハ特別ノ家屋ヲ記憶スルカ如キ。故ニ特殊ノ性質ヲハナレタル机又ハ家ニツイテイフトキハ之ヲ概念トイフ。比概念アルカ人ハ特殊ノ個体ヲハナレタル思考作用ヲ為スコトヲ得。概念ハ作ラルヽ。色々ノ観念ニツイテ一ツノ特徴ヲ比較シテ各々ノ観念ニ共通ナル要素ヲ抽象シテ概念ヲ作ル例

例ヘバ形ノ異ナル三角形ヲ比較シテ各々ニ三角形ヲ用ヰタル点ニ共通ナルコトヲ認メテ三角形ナル概念ヲツクル

ソノ抽象トイフ意味ハコノ共通ナル要素ヲアツメ (zusammenziehen) ソレニ一ツノ数名ノ概念ヲ総括 (generalisiren) トイフ意味ナリ。(Begriff ← begreifen)

概念形成の過程
1. 観念比較
2. 共通要素の抽象

故ニ概念ノ形成セラルヽニハ次ノ如キ process ヲ経ル。1. 観念ヲ比較シ、次ニ 2. 共通要素ノ抽象ナリ。抽象スルトハ共通要素ノミニ注意ヲ向ケテ他ノモノニ特異ナル点ヲ看過スルコトナリ。故ニ抽象ノ作用ハ半面ニ他ノ特異ナル点ヲ除ク意味ヲフクム (Abstraction ⟨positive 抽象 / negative 除象⟩)

3. 総括

次ニ 3. 共通ノ点ヲ一般ノ観念ヲ総括スル作用。半面ニハ

4. 言語

概念ヲ言語ニヨリテ表ハスコトヲ。コノ四ツノ process ニヨリ概念ヲ完全ナル概念ヲ得。概念ノ作用ハ必ズシモ言語ヲ俟タズ故ヲ出来ルモ言語ニヨリテ express セラルヽコトニヨリ概念ハ明瞭完全トナリ得。一体言語ハ人ノ思考ヲ他

人ニ対スル場合ニハ必要ナルモノニシテ又我々自身ガ思考ノ作用ヲスルニ必要ヲ感ズルモノニシテ某ニ言語ノ作用ニヨリ概念トカフコトヲ得ルニシテ其外常ニ用ヒラレル、比較ノ方法ニ次ノ四

1. Comparison.
2. Abstraction.
3. Generalization
4. Naming.

言語ヲハナレテ思考ナシ、又ハ思考アリテ始メテ言語アリト言フ事ハ大問題アリ。タダ言語ノ為ニ思考ガ完成スルモノ多シカラン

直観と思考との差

直観ト思考トノ差

1. 直観ニハ Reflection ナシ
2. 直観ハ記憶表象等皆個体(特種)(Individuum)ニ関シ思考ハ抽象的ナリ一般的ナリ

Imagination = Denken im Bilder

景色ニ就キ想像スルトキハ具体的ナル特殊ノ景ヲ表象スルガ直観ニシテ一般ニ抽象的ニ景色ヲ考フルガ思考ナリ

Intuition	Thinking
Idea	Concept
Concrete(具体的)	Abstract

Concrete, Abstract ハ要スルニ比較的ノ語ナリ概念ハ特殊ノ物ニ関スルモノハ抽象ノ要素ナシ(一般ノ机ナルモノハ五官ノ能ク触キ得ルモノ)。然ルニ我人ガ机ヲ見ルトキハ知覚ト共ニ、位置、明暗等ノ諸色彩形態ノ他ヲモ要ナリテ見ル。然ルニ常ニ一定ノカタチヲ机ナルコトヲ知ルハ、即チ「机」ナル抽象ノ要素ガ多シ。タダ比較的ニ著シカラザルノミ。

人間ノ知ノ発動ニテ概念ノ多キモ自ラ無ケレバナラズ。然シテ概念ヲ表スベキモノ即チ全体ノモノニ対スル思考トナルベキモノ言語ヲ有シ、オノレノ後ノ発動ノ概念ヲ基カスベキ基礎トナルモノ。言語ハ言語ノ他表ハレ語彙ノ発達ハ大体ニ於テ視覚ニ訴フルモノ聴覚ニ訴フルモノト運動感覚ニ訴フルモノトノ三ツナリ。

字ノ形ー視覚。　手真似

字ノカタチ ー 運動感覚。　盲人ノ点字盤。手真似

聴覚ガ最モ便利ナリ。(残像ナル分析作用ノ故。)

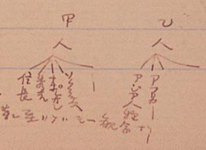
以上ハ概念或ハ表象ヨリ概念ヲツクルノ課程ナリ、ナホ我人ハカヲ作ラシタル程ノ概念ニツキ更ニ前ト同ジ様ノ作用ヲ施シテモ概念ヲ包括シ得ル部程ノ概念ヲ作リ得ル訳ニ野ル概念ハ之ヲ包括セラル、概念ニ対シテ高級概念(Higher Conception)ト云ヒ包括セラル方ノ概念ハ之ヲ包括スル概念ニ対シテ低級概念(Lower Concept)ト云フ。

高級概念
低級

Genus(類概念) ---- 生物 ---- Higher Concept - Superordinate
Species(種概念) -- 植物 -- 動物 ---- Lower Concept - Subordinate
等級概念 Co-ordinate
哺乳 鳥

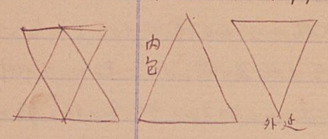
Being - Highest Concept

コレニ対スル最低ノ Concept ハ一定セズ。甲ノ時ハ人ハ lowest Concept ナリ、己ノ時ハ人ハ lowest C. ナラズ。



内容と外延

概念ハ上述ノ如ク総テノ概念ニ共通ナル性質ノ概念ニ於テ云フベキナレドモ一方ニ於テハ ソレラ共通ノ性質ヲ表象スルト同時ニ他方ニ於テハ ソレラノ共通ノ性質ヲ具有スル総テノ概念ヲ代表セルヤウナリ 前者ノ方ヲ論理学ニテハ概念ノ内容(内包)
Intension or Inhalt 後者ノ概念ノ外延 Extension (Umfang) トイフ故ニ内容ハ概念ノ代ラハルル事実ノ性質ニシテ外延ハ概念ニヨリテ指示サレル総テノ範囲ヲ意味ス
形式的論理学ニテハ概念ノ内容変化スル代ハリニ ソノ外延ニ従ッテ変化シ、概念ノ内容増ス代ハリニ ソノ外延ハ減少ス。之ト反対ニ外延増加スル代ハリニ ソノ内容ハ減少ス。ツマリ外延ト内容トハ大体ニ於テ反比例ヲイフテ増減スルモノト説明セラル



動物トイフモノハ有脊動物トイフ方ニ意味多シ(明白ナリ)。(意味ガ制限サレルヘシテ内容ガ充実ス)
之ニ反シ動物トイフ方ガ有脊動物モノ漠然トシテ外延多シ

言語と概念

言語ノ概念ニ対スル関係

1. 言語ナクシテモ概念ガ完全ニ成立ス
2. 概念ニ対シテ言語ハ二ツノ役目ヲナス
   イ. 概念ノ内容ヲ代表シテソノ意味ヲ示ス
   ロ. 概念ノ外延ヲ代表シテソノ中ニ包括セラルル総テノ範囲ヲ示ス。即チ包括的ニ代表セルナリ

官立学校 = 官立+学校、外延ハ狭ク内容ハ多シ。
学校 — 外延ハ広クシテ内容ハ狭シ。
形式的論理学ニテハ便宜ノタメカヲノ如ニシテ取扱フモ、実際ハ学校ト官立学校トノ間ノ関係ニ於テ官立ナル性質ガ加ハルガ如シ

概念の発達

概念ノ発達

1. 形概念ノ場合ニ概念ノ発達ハ二様ノ方法ニヨリテ行ハル — イ. 既ニ有ル概念ノ(2. 内容ノ変化)ヨリ概念ノ数ノ増スコト — ロ. 概念ノ内容ガ変化スルコト。

既概念ガ生ズルトイフガ各人ハ全ク既ニ概念ヲ作リ出ス能ハズ他ノ人ノ教ヘノ意ニ基ク経験ニ関係アルノニテ全ク無関係ナルモノナシ。之ヲ理解シ得ル例ヲ挙ゲレバ概念ガ既ニ無スルトスレバ必ズソノ概念ヲ完全ニ得ル準備トシテ土ノ堆積セル小丘等ニ就キテ少ク多ク概念ヲ有シ得ルモノデアル。而シテ各人ガ既概念ヲ作リ得ルハソノ必ズ之ニ接シテソノ要因ニ注意シテソノ既ニ概念ノ特色ヲ明ニスル為ナリ。而シテ之ニ過ギニ得タル概念ト既概念トノ類似点ト差違点ガ両者ニ認識サレタル時所謂両ニ概念ガ生ズ。ソノ両ニ概念ガ秩序的ニ排列セラレ而シテ全体トシテ統一サレタル場合ニ発見サレタル事物ノ知識トナル。既概念ノ発生スル原因ハ畢竟個人個人ノ実際的ノ要求ガ基礎ナリ。即チ旧概念ヲシテ満足シ得ザル時ニ既概念ヲ作ル。之ニ従来ノ概念ニテ各人ノ経験ヲ統一シ得ル時ニハソノ概念ヲシテ満足ス。ソレガ

出来又は一つ以上の適切な概念を有するに至る。
故に彼概念の成立は個人的の要求が基礎となり而して各人が個人トシテ直接に彼概念の必要を感ぜられる他人又は書物などから彼概念を得て之を一つの他人又は書物などから得た概念とを比べて何人が感ぜし実際的必要に基づくそれとを以て彼概念の発生は個人の実際的の要求が根本となり経験の変遷に伴なう彼概念の発生を促すものなり。

博愛人道等の概念を社会状態が変遷し他人独立協調の必要が起れる時始めて起れる要求に基きしものなり

概念内容の変化

第二、概念内容の変化は個人の実際的要求を基礎として経験の変遷に伴なう内容を変ずるに外ならず直接上に於ける絶対変化なる意味に於ける内容の変化と便宜上二種に分つ。一つは概念が①外延を増加する場合。②他は外延を減少する場合なり。例へば教育という概念の場合外延の増加とは教育という概念の外延の減少とは例へば教育の様。然るに就中概念内容が精密になるに従ひ他人の要求に基づくもの

教育。昔は他人間のみ。

哲学。昔は常識的智識の中に入りて分立し学問の方法の如き学ぶべき人に対する生命なる概念は先づ一個人の要求に接触し概念となり然る彼概念

ナリトスルモ単ナル name ニ過ギズ

意識的事実の根源意識的事実トシテノ概念

各人が概念を思考スルトキ如何ナル意味ナリヤ。各人が何を別ちたるに関スル知識を思ヒ浮ベタルトキ記憶作用或ハ想像ノ力ニヨリ既嘗テ之ヲ意識スルヲ得シ思考場合ニ一般的概念ノ概念ノ心像トシテ何ニ浮ベテ出来ルズ故ニ思考ノ作用スル他人ガ如何ナル意識状態ヲ以テ思考スルカニ就テハ他ノ議論アリ今カヽル性質ノ点ニ於テ他ヲ実験的研究ヲ行ハルルニ至レリ。トモカク或ル概念例ヘバ三角形トイフテ思考スルトキ特殊ノ形ヲモテル又特別ノ大サヲ有テル三角形ナルカ如キ意識スル得ル一般ニ三角形ノ心像トシテ第ノ様ニ思ヒ浮ベタル一般ニイフ「三角形」ニ就テモ実際各人ハ思考ヲ行ヒ得ルトキ次ニ如何ナル問題概念ヲ考フルヤトノ問題ニ其答ヘ就テ各人ノ下ノ如ク解釈スルヲ得。つまり一ノ概念ヲ意識スル場合ニハ特殊ノ観者例ヘバ一定ノ大サ形ヲモテル三角形ヲ心ニ思ヒ浮ベタルトキ概念トシテノ三角形ヲ考フル時ハ思ヒ浮ベタル三角形ノ特殊ナル点ニ注意ヲ向ケズシテ単ニ三角形一般ノ観念ニ共通ノ性質即チ三角形トイフ概念ノ内容ニ注意ヲ向ケテハ他ノ点ハ之ヲ看過スルヤ之ガ概念ヲ意識的事実トシテ考フル意味ナリ故ニ一ノ概念ガ意識的ノ事実トシテ存在スルトイフコトハ単ニ一ノ具体的観念ノミニハ概念ノ代表者ヲ意シタル一ノ個人ノ場合ニノミ

*三角形ヲ用ヒル

「三角形」ハ文字ノ心像ノミシカ心ニ留ラザルコトモアリ其ノ故ニ思考ノ作用ガ満足シカネテアリ。然シテソレニシテモ先人ハ「文字」ト云フ具体的概念ヲ介シテ概念ヲ心ニ保ツコトハ出来ル。故ニ概念ハ具体的概念ニ縁故低ケレバ明瞭ニ考ヘ得ズ抽象的ノモノトナリテ観念ニ縁遠キニ従ヒ明瞭ニ考ヘラルルモノ困難トナリ概念ト人造ノ物質等ノ概念ヲ比較セバ明カナラン。

概念の動力

次ニ述ベタル概念ハ先人ノ行為ヲ支配スル作用ヲ概念ノ動力ト名付クルナレドソノ動力ハ抽象ノ度ヲ増スニ従ヒ減少シ具体的ノモノトナルニ従ヒ増加ス 従ッテ非常ニ抽象的ノ概念ガモシ先人ノ行ヲ実際ニ支配スル力ヲ有スルトセバ恐ラク何等カ具体的ノモノ 例ヘバ象徴ナリ概念或ハ具体的ノ行為ノ物ニ関聯シタル動力ガ加ッテ初メテ之ヲ

「何カ食ベタい」トカ「ミヅノミたい」行為ヲ支配スル動力ハ少シ

「牛肉ガ食ベたい」トカ「ミヅヲ一杯ノミたい」行為ヲ支配スル力大ナリ。

即チ具体的ノモノニナルニ従ヒ行為ヲ支配スル動力大トナル。

忠孝、一行者ノ如キ抽象的概念ガミニナル行為ノ動力少シ

ソレカ比較的具体的概念ト連絡ヲモツカ或ハ力ヲ加ヘラルル

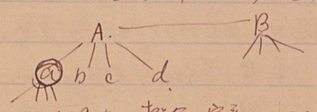
Jesus ノ道ヨリ Christianity.

○基督教伊教其他モノヲ抽象スルコトハ出来ルモ之ハ若カシコニシテ先人ヲ支配スル力ハナシ

明瞭なる概念

明瞭ナル概念

概念ノ明瞭ナルトハ概念ノ内容ノ分析ガ明瞭ナルモノヲ即チ概念ノ表ハス意味、又ハ包括スル範囲ガ明ラカナルモノヲ概念ハ Clear ナリトイフ。アル概念ノ内容ヲ明瞭スルニハ(ソノ概念ノ)定義スルニアリ。アル概念ヲ定義スルニ就テ之ニ次ノ二点ニ注意スルヲ要ス。一、今定義セントスル概念ノ属スル類概念(Genus)ヲ挙ゲシ。二、ソノ概念ト ソノ他ノ Co-ordinate Concept トノ区別スベキ点即チ Specific difference (種差)ヲ挙ゲシ。コノ二ツノ事柄ヲ明瞭ニナシ得ルモノ定義ハ完全ナル定義ナリ



1. a ナル概念ヲ定義スルニハ A ヲアグルガ必要ナリ。即チ a 概念ガ全体ノ概念系統中既ニ如何ナル位置ヲ占メテイルカヲ明ニセンガタメナリ。人ー動物。

2. a ノ Co-ordinate Concept トノ区別ノ点ヲ明ニスル(b. c. d. …)人ー猿。ーコノ specific difference ヲアグルハ他ノ人ニアリテ他ノ Species ニナキモノガ人ノ Specific difference ナリ。

3. 外延 Division ノ要素

外延ヲ明瞭ニスルニハ division (分類)ニアリ。division トハアル概念ノ外延ヲ数ツカニ分ケタル時ハ Species ヲ含マレカヲ明ニス故ニ Division ニハ三要素ヲ必要トス第一ハ分類セ

ラルベキ概念、第二ニハ2分類ノ原理或ハ基礎ニ base ノ例ヘバ人間ノ体躯ノ色ヲ原理トシテ白色人種黄色人種黒色人種等トスルガ如シ、第三ニハ3分類ノ結果トシテ得ラルベキ各部分即チ種概念ニアタルベキニシテ之ヲ Members of division (分類肢) トイフ。此分類ヲスルニ就テ第一ニ注意スベキコトハ分類ノ原理ガ如何ナル本質 essence ニ従ハザルベカラザルコトナリ。恐ラクコレハ即客観的ノ優位ハ少シ例ヘバ人種ニ依ル人類ノ分類ノ如キコトハ本質ニ関セザルモノトシテ突然、身長等ニ基ク分類ハ偶然上ノコトニ基キ実際ノ便宜ノ外ハ学問上優位ヲ占ムル其他分類ニ際シ必要ナル矣ハ1.2分類スルニ就テハソノ途中ニ於テソノ原理ヲ変更スベカラズ若シ之ヲ変更スルトキハ所謂 Cross division (交叉分類) トナル

分類に関する注意

三角形 { 直角 —
鋭角 —
二等辺 —
不等辺 — }

3. 分類肢ガ互ニ exclude スルヲ要ス即チソノ全体ノ member ノ総和ガ分類サレタル類概念ト同一範囲ナルヲ要ス

4. Division ハ高級概念ヨリ漸次低級概念ニ移ルベキニシテ決シテ高級ノ種概念ニ移ルコトヲ許サズ

一度 Division ヲ施シタル概念ハ再ビ更ニソノ各々ノ member ニ分類ヲ施シテ最高級ノ概念ヨリ最低級ノ概念ニ至ルマデ系統的分類ヲナセル場合ニ之ヲ Classification トイフ

Classification 系統
classification division 分類

アル概念ヲ二分類ニ分類スル必要アリ、而シテ論理上最モ安全ナルハ二分類ナリ。即チ反対ナル二ツニ分ツガ如キ之ガ exclusion ナリ

排斥

有毒桃　金属　白 { 黒
非白 { 黒 { 銅色
非銅色
無毒桃　非金属

判断

概念形成セラレシ後二ツノ概念結合セラレテ判断 then A is B ノ如キ二概念ノ関係ヲアラハセルモノガ判断ナリトノ definition 意義ヲ解釈セ

判断ノ言語ニアラハサレタルモノ

A is B — Proposition (命題)

A: Subject 主概念 主辞
is: Copula 繋辞 連辞
B: predicate 賓概念 賓辞

命題 (判断) トハ主辞 (主概念) ト賓辞 (賓概念) トヲ連辞ヲ以テ連結セルモノナリ

{ A is B.　花ハ美シ
S is p.　花 — 美ナル物
(S — p.)

カクノ如ク判断ハ如何ナル概念ヲ結ブモノヲ生ズルモノトナリ之ヲ意識ノ解釈セラルルトキハ判断ノ作用ハ分ツベカラザル概念形成セラレタル結果ヲ生ズルモノニアラズ先ヲ思考ノ作用ヲ直観ノ作用トオ対立シ思考ノ作用ガ反省ニ基キテ記ルルナリト述ベルガ如キ反省ハ如何ナル点ニ判断ノ作用ヲ包含スルヤハ思ヒ切リナリ知覚スルトキハ既ニ判断ノ作用ヲナセリ。ソノ意味ニ於テハ知覚作用ニ判断ノ作用ハ

然レトモ存在又概念ノ形式ニ用ヒラレル比較抽象等ノ作用中ニモ判断ハ存在シ例ヘバ雪ト白ト概念部作ノ中ニ砂糖塩等ト色ガ類似セルモ冷ヤ冬ニ等異用ノ新序創ル代ハリ現ニ判断ノ作用ナセルモノ又砂糖塩雪ニ新テ之レヲ異ナリタル点アルモ白色ト白ト云ヘル部分共通ナルモノ白ト云フ概念ノ抽象スル時モ一種ノ判断作用含マレ比較ニ於ケル直感ニ引キ続キ果ノ作用ノ存在、判断ノ作用ナリトモ化得ベシトモ カカル概念ノ形成其他知覚等ノ作用ニアラハル判断即チ之ト反対ノ作用ニ伴フ判断ハ自ラ概念ト概念トノ結合ニヨリテ生ズル判断ニ体ハシノ形式不変定且ツ簡単ナルモ二ツノ心的要素ノ間ニ存在セル関係ノ定ル上ニテ行ハレル一種ノ判断ヲ其ハ第一ノ判断ヲ原始的判断(Primary Judgement)ト云フ。

原始的判断

カカル撰択作用ノ推理ノ作用ナリトモ化得。何ナレバ直感作用ハ撰択不定ナル撰択作用ナリ。

カカル判断ハ単ニ観念ノ漠然タル言葉ノ如キ特ニソノ中ノ一ツニ撰択区別スルニヨリテ生ズ。即チ概念作用知覚作用判断作用ガ如キ有機的関係ヲ有シソノ発生ノ多段ニ渡リ不定ニ純ハ然シ知的作用ノ如キ最モ推理的ナル判断作用モ亦何ナル純粋ノ撰択要素ノ関係ヲ以テ働キガ無クハ知覚ト云フ作用スラモ成立セズ故ニ即チ判断作用ノ中ニモ比較ガ漠然タル程度

ノ如キノ一要素ヲ取リ出シ之レヲ分離セシム作用ガ相対的ノ比ニシテソノ意味ニ於ケル判断ハ特色ノ綜合ト云フベキ部分ト云フ。然レド分析ノ高ク必ズ綜合ト云フ作用ヲ含マレ分析ナレ上ニテソノ要素ノ綜合スルモノ判断ヲ生ズルナリ。故ニ判断ハ絶ヘズ分析的ナルト同時ニ綜合的ナリ。但シ知覚ニ関係シ簡単ナル判断ニ於テハ多ク分析的作用著シクアラハレ複雑ナル発達シタル判断ニ於テハ綜合作用著シクアラハル。

判断の作用

Judgement { Analysis / Synthesis

犬ガ走ッテイル知覚判断ヒトツ。犬ト走ッテイルトヒトツノ概念ガ綜合セラレタルアリ。[走ッテイルコト]ヲ知覚シソノ中ニ犬ト走ッテイルトヒトツノ概念ニ分析シタコトニ分析判断ガ成リシナリ。然シテコノ分析セル一要素ヲ再ビ綜合シタルモノヲ定義シタル判断ガ成ルナリ。

推理 Reasoning; Inference; Schliessen

論理ニテハ推理ハ一個ニ個若シクハ二個以上ノ既知ノ判断ヨリ基礎トシテ未知ノ判断ヲ導キ出スコトナリ。カカル意味ノ推理ニ直接推理ト間接推理トノ区別アリ直接推理ハ一ツノ判断ノ自身媒介ナシニ他ノ判断ヲ導クコトナリ。間接推理ハ要ニ二個ノ既知

直接推理
間接推理

ノ判断アリソノ関係ニ於テ他ノ未知ノ判断ヲ導クヲ
ノ要ス推理トイフハ此ノ関係ノ推理ヲ指スモノナリ

例ヘバ金属ハ元素ナリ
札銀ハ金属ナリ } 前提 premises　三段論法 (Syllogism)
故ニ札銀ハ元素ナリ。 — 結論 or 断案 conclusion

偶々ある人ノ事ニ加ハル形式ニ従フテ推理スルモノニアラズ唯カノ形式ハ常ニ各人人間ノ思考ノ自然ニ及セルモノトイフベキモノニシテ人ガアル目的ヲ定メテソノ目的ヲ達スル為ノ手段ノ種々ノ方法ヲ考ヘ弟ニソノ中ニテ各人ニトリテ最モ優レタルモノヲ選択スルヲノ推理ソノ思考法ニ三段論法ノ如キ素直ナル順序ニシテ之アラズ時トシテソノ間ニ種々不必要ナル観念ノ像或ハ感情等ガ挿シ込マレタル作用ノ発生スルコトアリ

推理ノ定義

一般ノ推理ハ以上ノ如ク推理トハ目的ヲ持テル思考ナリ。ト解釈スルハ推理ノ最モ簡単ナル場合ノ作用ノミニ知覚ノミ多キニ過ギタルニ過ギズ又一般ニ観念ノ像ナリ表象ナリスベテ知的ノ多キハ推理ノ作用ト関係ス範囲ニ於テ各人ノ精神生活上ノ優越ヲ有スルニ至ル何トナレバ各人ノ実際上ノ目的ト何等関係ナキ心的作用ハ人間ノ外界ニ対スル順応ニ少シモ影響ヲ及ボサルヲ以テナリ

感情 Feeling.

Feeling 或ハ Gefühl トハ多クノ意味ヲ有シ日常ノ用法ハ甚タ曖昧ナリ所謂感情 感覚例ヘバ触覚ノ如キ感情トイフアリ例ヘバ皮膚ニ触レタル軟ラカナル feeling ヲ覚フトイフ場合ノ如シ或ハ温覚ノ場合ニテモ warm ヲ feel スルトイフアリ又一般感覚ノ場合ニテモ例ヘバ I feel tired トイフガ如シ又ハ時ニ客観的、美的等複雑ナル感情ヲ指スコトモアリ、又史的ニ feeling ナル語ノ用法ヲ考フルニ今日ノ如キ学問的ノ用法ト同様ニ用ヒラレテアラズ又今ノ学者ノ之ヲ一般ノ用法ニ移サズ感ジノ情トイフ説ハ大抵知的作用ニ対シテ用フルニシテ主ニ複雑ナル情ヲ所謂 emotion ヲ指スモノナリ。然レドモ情ハ複雑ナルノミナラズ学問上ニハ之ヲ分析シ統一的ノ説明ヲ下スベキ必要アリ故ニ情ハ如何ナルモノカ者ハ内容ヲ感情ノ心理学ニ於ケル意義ニ快不快 (agreeableness and disagreeableness; pleasure & displeasure; Lust und Unlust.) ヲ指スモノナリト解釈スルニ過ギズ心理学ノ用語ニ所ニシテ感覚知覚

感情とは何ぞ

以上は一般的客観的性質より直接外界の事物に関係する感情の快不快、これらの事物と密接に結合した純主観的状態より起る感情の区別が難しい。感情は快不快以外の多くの感情、即ち或は学者は感情独立の範疇として説明されたが、実は以上は単に快不快の強度(intensity)が異なる丈の感情以外の分子が混じたるに過ぎず、quality上の差違が起るにあらず。故に単に快不快以外に差別アリとは言ふ。

微温湯へ手を入れたり大地に触れたりの感心(快不快)の差は触覚(即ち感情以外)に起るものなり

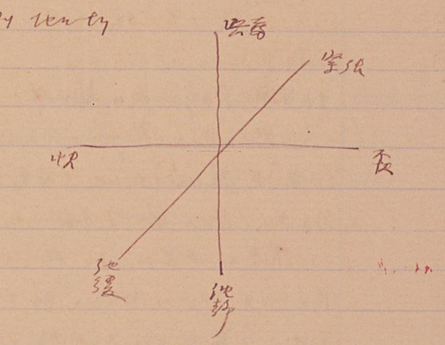
斯の如く凡ての感情は快不快の強弱の上の差違に過ぎずして、これを除けば快不快以外にはquality上の差違なく、感覚の如く多数の種類アリ。

Wundt氏説

この考に反して多くの感情は常数のquality上の差アリ。Wundt等の説に大体共通性質として三つの方向(Richtung)を認めたり。即ち1快不快(Lust-Unlust)、2興奮と沈静(Erregung-Beruhigung)、3緊張と弛緩(Spannung-Erlösung)なり。単純なる感情はこれら三つの方向の中に一つ或は二つ以上の方向に関係を有するに過ぎず。又逆にこれ一つの方向に属するものは純粋なる快不快の感情なり。

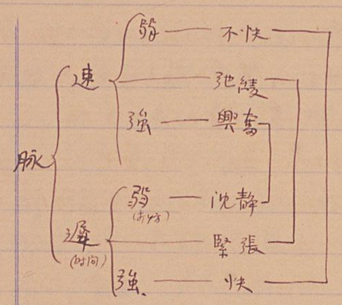
感情の方向
1 快不快
2 興奮と沈静
3 緊張と弛緩

一般感覚、美感、味覚等の感覚は常に快不快の感情を伴ふ。興奮沈静に分るべき純粋の興奮的感情は沈静的なり。緊張弛緩の方向は一定の時間的経過に伴ふものなれども、例へば期待の場合の緊張の感情は生じ、緊張し出来ざる記憶に時の弛緩の感情が起る。



興奮は見よ excite とは sensation 愉快と不快とのこと云ふ

Wundtの考へ主として内省的事実に基く主張なれども経験又多くの生理的事実に基く処あり即ち表情強く服持の表情(expression)の上の観察より夫々三つの方向に起る事はexpressionの上の実験的に証明せり今の脈搏の変化の表これ吹入脈について次の如し



Royce氏説
二方向説
快不快
苦不苦.

十九世紀ノRoyce氏ハWundtノ説ニ類似セル説ヲ唱ヘタリ感情ニ二方向説ヲ主張スRoyceノ考ヘニヨレバ感情ニハRestlessness(不安)ト Quiescence(安靜)ノ二方向ガ快不快ノ両方以外ニアリ。例ヘバ快ヲ安不安トニ等分シ人ガ愉快ヲ感ジタル時ニハ満足スル快楽ヲ覚ヘル場合ニ於テハ愉快ヲ伴フガ多クハ落チツカヌ不安ノ場合ニハ、即チ不安ノ感情ガ強ク居ル時ト反対ニ不愉快ヲ伴フ不安靜ヲ感ズル不快ヲ伴フ場合ニハ快楽ヲ感ズル状態ナリ。

愉快ニシテ安靜ナル状態ガ既ニ苦カ

Royce ノ由不苦ハ Wundt ノ興奮沈靜ニ似タルモノ
緊張弛緩ガ不快ニ苦ク例ヘバ感覚ガ主ニシテ
感情ニハアラズトノ批評アリ

快不快以外ニ感情ノ Quality アリテハ指ニ決定シ難シ
ガ既ニ注意スベキ感情ガ快不快ノミニ止マラズ
ナレバナリ 又ハ快不快以外ノ Quality ガ異ナル
me 覚報ノ感情 Quality ハ強弱ノ上ノ差異ノミニ止マ

セノナリヤヲ知ルニ先ダチ快不快以外ノ方向ハ漸次
同ジ快、同ジ不快ノ中ニ強ミヲ数段ノ程度ニ区別シテ
認メルヘカラズ簡単ナル感覚ニ伴フ感情ト複雑ナル
観念ニ伴フ感情トハ感情ニモ多ク二種ニ分ツベキ
一般ノ快不快ハカカル方ニ分ツベキ実際ノ事実ニ適合
セザルモノ多シ

simple feeling { Sensory feeling. — 感覚
complex feeling { intellectual f. (ideational f.) — 観念
emotion 情緒
sentiment 情操

説明
ターゲット

これより最終ページまで白紙になりますので撮影を省略します。

Rather to be deceived
than to suspect.

TRADE MARK